

ご相談窓口のご案内

弊社商品をご購入ありがとうございます。製品の使い方相談、修理相談については下記の窓口をご利用ください。

なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「こんなときは／故障かな？と思ったら」などを一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名(表紙右上表示)、②お買い上げ日、③お買い上げ販売店、④故障症状、⑤症状によっては製品と一緒に動作確認させていただく場合がありますので、製品を近くにご用意ください。具体的な症状をご確認の上ご連絡ください。

※出張での使い方の説明、修理はおこなっていませんので、ご了承ください。

ホームページで
製品サポート情報や、お問い合わせについてご覧いただけます。

<http://www.tohshoh.jp>

使い方／修理相談窓口

電話 048-997-2244

FAX 048-997-2082

受付時間 月～金 9:30～17:30 休業日 土・日・祝日

株式会社とうしょう カスタマーサービス
〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1

保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

品名	DVDカラオケ録音機能付き木製CDコピー多機能プレーヤー		
お客様	お名前	ご住所	電話番号 ()
お買上げ日	年 月 日	取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間 (お買上げ日より)	本体1年 (但し消耗品は除く)		

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
②お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。
- ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
⑥本書のご提示がない場合。
⑦本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

〈製品部品の保有期間〉 部品の保有期間は製品製造終了から6年間です。

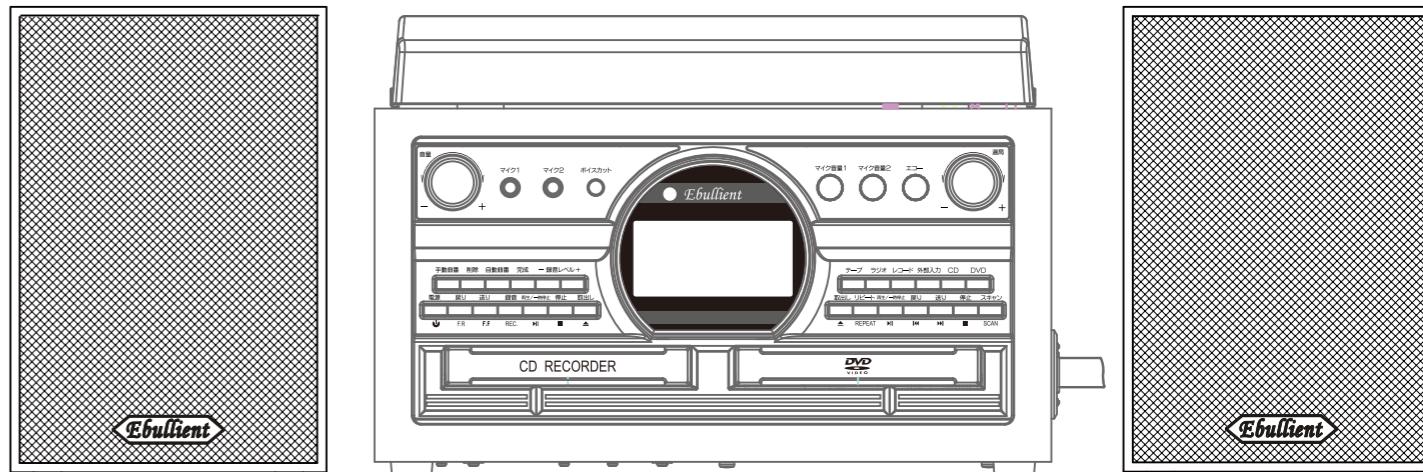
※一年間は無料修理を行います。但し、お買上げより一ヶ月間が過ぎてからの修理依頼に関して、弊社への送料はお客様ご負担にてお願いします。尚、修理完了後の送料は弊社負担にて発送させていただきます。

型名：TS-6153

DVDカラオケ録音機能付 木製CDコピー多機能プレーヤー 取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、お買上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



輸入元：株式会社とうしょう
住所：〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1
カスタマーサポート：048-997-2244

目 次

目次・仕様	2	CDからCDへの録音方法	20
安全上の注意	3	テープからCDへの録音方法	22
録音用CD-R/CD-RWについて	4	音楽プレーヤーからCDへの録音方法	24
各部の機能と付属品	5	CDのファイナライズ方法(完成作業)	26
BUSY表示の注意事項	6	CD-RWのデータ消去方法	27
リモコンの各部名称と機能	7	自動曲番入り機能について	28
レコードプレーヤーの使い方	8	オーディオ機器などの機器接続方法	28
ラジオの使い方	10	電池交換方法	29
カセットプレーヤーの使い方	11	録音可能なCDについて	29
CDプレーヤーの使い方	12	日常のお手入れ	30
CD再生時の応用機能	13	レコード針の交換方法	30
DVDプレーヤーの使い方	14	こんなときは／故障かな?と思ったら	31
DVDカラオケ・CDへの録音方法	16	ご相談窓口のご案内／保証書	
レコードからCDへの録音方法	18		

仕 様

<input type="checkbox"/> 電源	AC 100V
<input type="checkbox"/> 本体サイズ	サイズ:約W365×H260×D356mm / 約7.7kg
<input type="checkbox"/> アンプ	消費電力:72W 周波数特性:60Hz～20KHz
<input type="checkbox"/> スピーカー	出力:15W+15W(30W) 内:ツイーター5W+5W インピーダンス:8Ω サイズ:約W170×H253×D247mm / 約2kg×2
<input type="checkbox"/> 入力端子	マイク端子:前面2(6m端子)
<input type="checkbox"/> 外部出力	スピーカー接続端子(赤R/白L) 外部出力端子:(赤R/白L) TVモニター接続端子:(赤R/白L/黄VIDEO)

<input type="checkbox"/> レコード	モーター:DC方式 駆動方式:ベルトドライブ 回転数:33-1/3・45・78rpm 信号雑音率:50db(IEC-A) カートリッヂ:セラミックステレオカートリッヂ 針:サファイア針
<input type="checkbox"/> CD	周波数特性:60Hz～20KHz +/-4db 信号雑音率:50db(IEC-A) CD再生/録音機能
<input type="checkbox"/> DVD	DVD再生専用
<input type="checkbox"/> カセット	ワウ・フラッター:0.4% (WRMS) 周波数特性:125Hz～6300 Hz +/-6db
<input type="checkbox"/> ラジオ	FM:76MHz～108MHz AM:531KHz～1602KHz

こんなときは／故障かな?と思ったら

●故障かな?と思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症 状	ここをお確かめください	
スピーカー	音が出ない 音が途切れる	●音量は十分ですか?
リモコン	リモコンが 使えない	●本体の電源はONになっていますか? ●リモコンと本体の間に障害物はありませんか? ●リモコンと本体との距離が離れすぎていませんか?(約2m以内) ●リモコンの電池は正しい向きに入っていますか? ●リモコンの電池が消耗していませんか?
CDレコーダー	再生できない 音が出ない	●CDボタンを押して選択しましたか? ●CDのオモテ側を上向きに、正しく挿入されていますか? ●CDの再生面が汚れていませんか?やわらかい布などでふいてください。 ●ファイナライズ(完成処理)しましたか?していないと他のCDプレーヤーで再生できません。 ●CD-RWで作ってファイナライズしたCDでも、CD-RWの再生機能がない他の機器では再生できませんのでご注意ください。
	録音できない	●音楽用のCD-RまたはCD-RWを使用していますか? ●録音されてない空のCDディスクですか?
レコード プレーヤー	ターンテーブル が回らない 音が出ない	●レコードボタンを押して選択しましたか? ●針の保護カバーを前方にスライドさせ、はずしてありますか?ご確認ください。
カセットテープ	テープが 入らない 回らない	●テープは正しく録音されたものですか? ●テープボタンを押して選択しましたか? ●テープを挿入するとき、上下、左右、正しい向きになっていますか?
ラジオ	音が出ない	●ラジオボタンを押して選択しましたか? ●AM・FMの選択はラジオボタンを押すたびに切換ります。 どちらかを選択しましたか? ●ラジオ選局ツマミでお聴きになりたい番組に周波数を合わせましたか?
	雑音が入る	●受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。 (FM受信時) ●本機の設置場所、設置方向を変えてください。(AM受信時)
DVD	映像が映らない	●TVモニターの外部入力ジャックの確認をしてください。 本体にDVDを入れて再生し、TV本体またはリモコンで映像が映る 入力端子を確認します。 ●DVDは必ず市販品をご使用ください。ご自身のPC等で作成等 したものに関しては使用できません

日常のお手入れ

⚠ 注意

●高温多湿の場所に設置しないでください

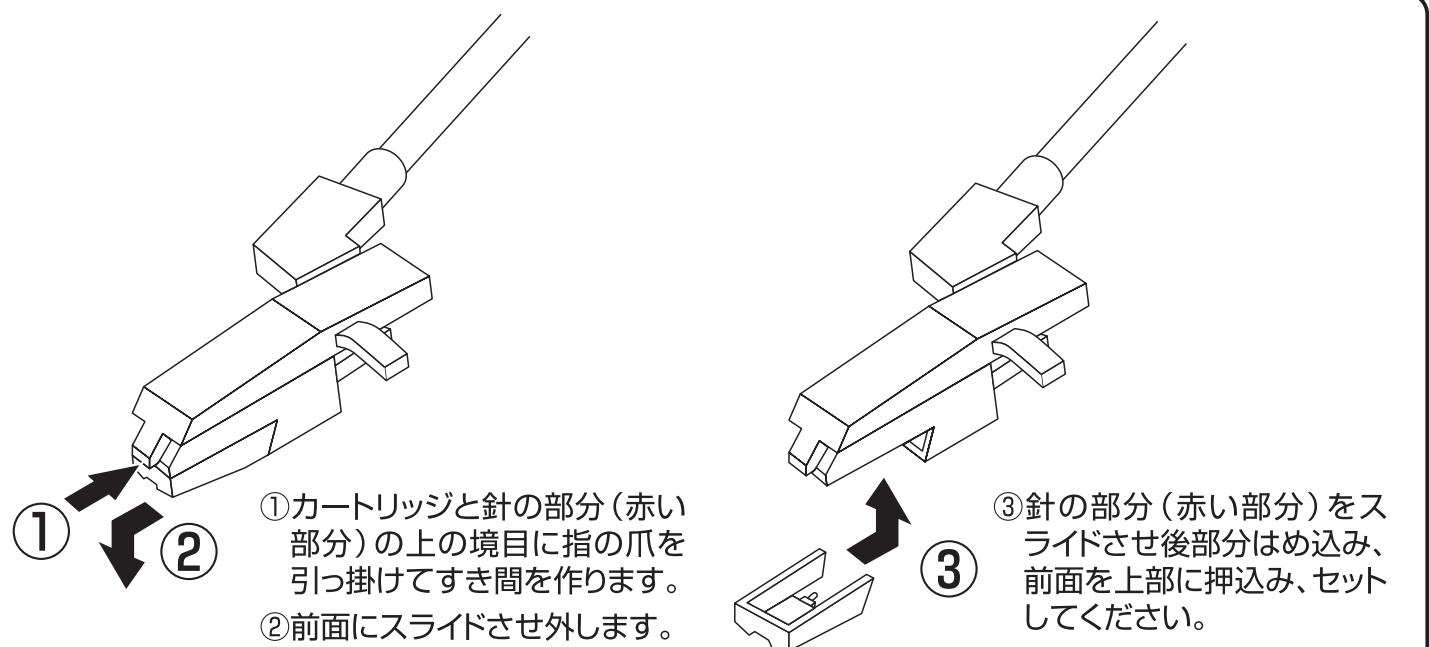
正常な機能を維持し、末永くお使いいただくために、お風呂場の近くやストーブ、直射日光の当たる場所など、高温や多湿の場所ではお使いにならないでください。変形したり、故障の原因となることがあります。

●汚れを取るときは

汚れをとる場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞ってから拭き取ってください。このとき、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。

研磨剤や強力な洗剤は、本体の仕上げを傷つけることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変質したり、曇ったりすることがあります。

レコード針の交換(別売品)



- レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いは十分注意してください。
- 針先の耐久時間は、約100時間です。それ以上使い続けると、大切なレコード盤を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意(注意・警告・危険を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

⚠ 警告

- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- 本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。



- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 本器の側面、裏側カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。
また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



- 万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



- 万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
(特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)



⚠ 注意

- 本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。



- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



録音用CD-R/CD-RWについて

！注意

- 録音に使用できるディスクは、音楽録音用のCD-RとCD-RWです。CD-Rに書き込んだデータは消すことはできません。CD-RWは記録したり消したりすることができます。
- CD-R、CD-RWディスクはメーカーまたは、CDディスクにより録音できない場合があります。特にテープ／レコード（アナログ製品）からの録音の場合、CD記録ソフトの特性などにより録音・再生できないことがあります。
- CD-R、CD-RWディスクはメーカーによっては、本機の性能を十分発揮できない場合がありますので、あらかじめテストをお勧めします。

CD-Rについて

- 録音後は音楽データを消すことはできません。
- 完成処理（ファイナライズ処理）の前であれば、追加録音することができます。

CD-RWについて

- 録音後、削除ボタンにて最後に録音された曲から順番に1曲づつ消すことができます。また全ての曲を一度に消すこともできます。
- 完成処理（ファイナライズ処理）の後に曲を消す場合は、削除ボタンにて全ての曲を消してください。（詳細はP.27のCD-RWの曲データの消去を参照してください。）

注 意

- ※市販のCDプレーヤー（特に古い機種）によってはCD-RW再生機能が無いものがありますので、再生することができません。
- ※CD-Rは一度録音しますと消すことができませんので、失敗が心配な場合はCD-RWを練習用としておすすめします。

操作上の注意

- ・本機の操作ボタンは「長押し」をすると反応しません。一部の操作を除き、「短押し」（短く“カチッ”と押してすぐ離す）で操作して下さい。
- ・切替等操作をした後に、必ず“BUSY”的表示が出ます。その後、各操作手順の「ディスプレイ表示」の内容に表示が切替わった事を確認してから次の操作をして下さい。表示が正しく切り替わっていない場合、本体は正常に作動しません。
- ・本機はマイク単体では音は出ません。DVDもしくはCDが再生された状態でマイクの音が出ます。

電池の交換方法

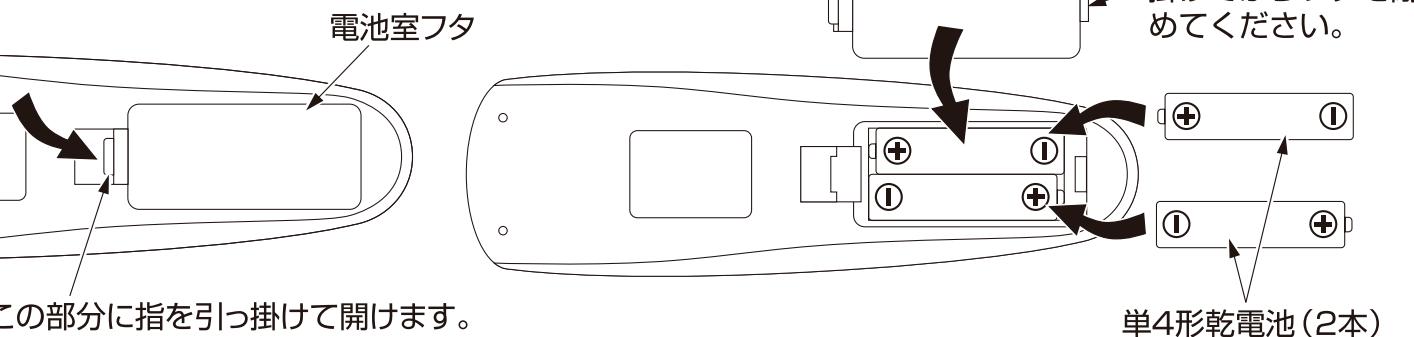
●電池の交換方法（入れかた）

※付属リモコンは2個ありますが交換方法は同一です。

- 2本の電池（単4電池）を入れ、フタを閉めてください。リモコンの操作がしにくくなったら、新しい電池に交換してください。+と-の向きを正しく入れてください。付属乾電池は機能テスト用電池です。

- 使用範囲は2m以内です。

- リモコンは本体に向かって操作してください。



著作権についての注意

！警告

あなたがレコードやCD、録音物などから録音したもののは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断では使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物（CD、ミュージックテープなど）の作品も同じように著作権法により保護されています。従って、音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したCDなどの使用には一定の制限があります。たとえば、

- 放送やレコード、CD、録音物から録音したCDを売ったり配ったりすること、あるいは、貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。
- レコードやCD、録音物またはそれから録音したCDや放送から録音したCDを営利（店のBGMなど）のために使用すること。

これらの場合には、著作権法上の権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会（JASRAC）もしくは最寄りの支部におたずねください。

録音可能なCDについて

※録音可能なディスクは音楽用「DIGITAL AUDIO」表示のあるCD-R/CD-RWです。

- CD-Rはライトワーンス（録音後の消去ができない）CDです。ファイナライズ（完成）を行なわない限り、曲を追加して録音することはできますが、消去はできません。
- CD-RWはリライタブル（消去することで、また録音ができるようになる）CDです。最後に録音した1曲のみの消去または、ディスク内のデータをすべて消去ができます。
- CD-RWにも様々なメーカーがあります。日本で販売されており、メーカーでの検証を行っておりますが、相性によりご購入CDでの録音がうまくいかない場合は、再度最初から録音を試してください。また、別メーカーCDをご購入いただき試していただくことをお勧めします。

※上記の上録音できない場合はご購入先／弊社カスタマーサービスにてご対応させていただきます。

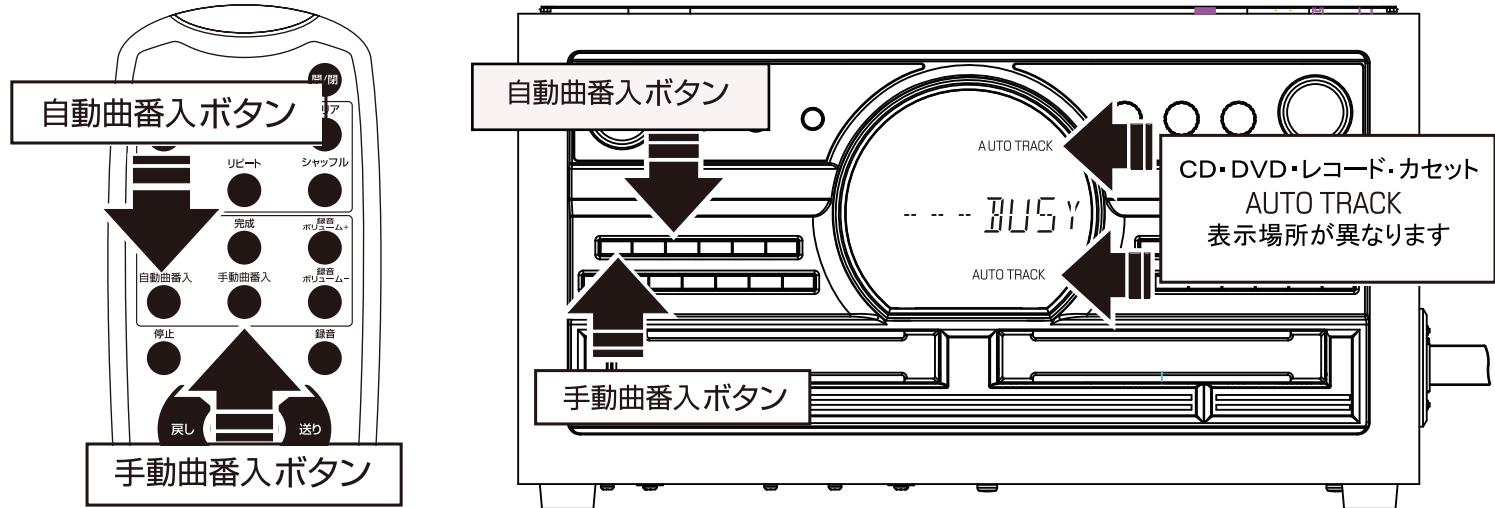
自動曲番入り機能について

自動曲番入りの使用方法

CDの録音中に曲番(曲と曲の間に空きができる)が自動で入る便利な機能が付いています。この機能は、レコードの録音、テープの録音、CDからCDへの録音の時などに働きます。

- 録音ボタンの後に本体／リモコンの自動曲番入ボタンを押してください。

ディスプレイ表示「AUTO TRACK」が表示されます。



注意

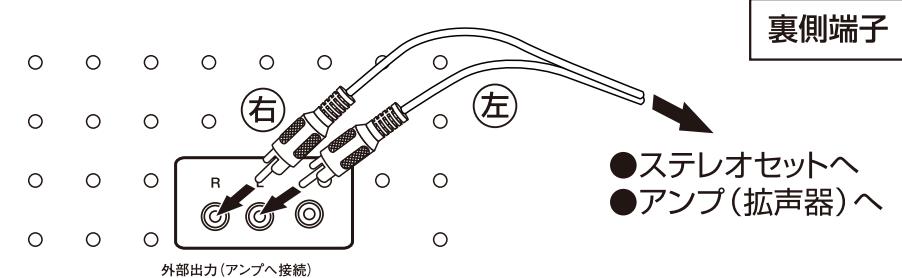
- 音楽CD、レコード、カセットテープの曲と曲の間(空白信号)を読み取り、曲間(曲番)を作りますが、録音状態により曲と曲の間に(空白)が無い場合は曲が続いてしまい一曲と認識する場合があります。
- 曲と曲の間(空白)が短かかったりする場合は、曲間(曲番)がついても次の曲の頭が切れる場合があります。
- 一曲の中に空白部分があると曲間と認識し一曲の中で曲番がつく場合もあります。
※上記の場合は曲が終わることに手動で曲番を入れてください。

曲番入りボタンの使用方法

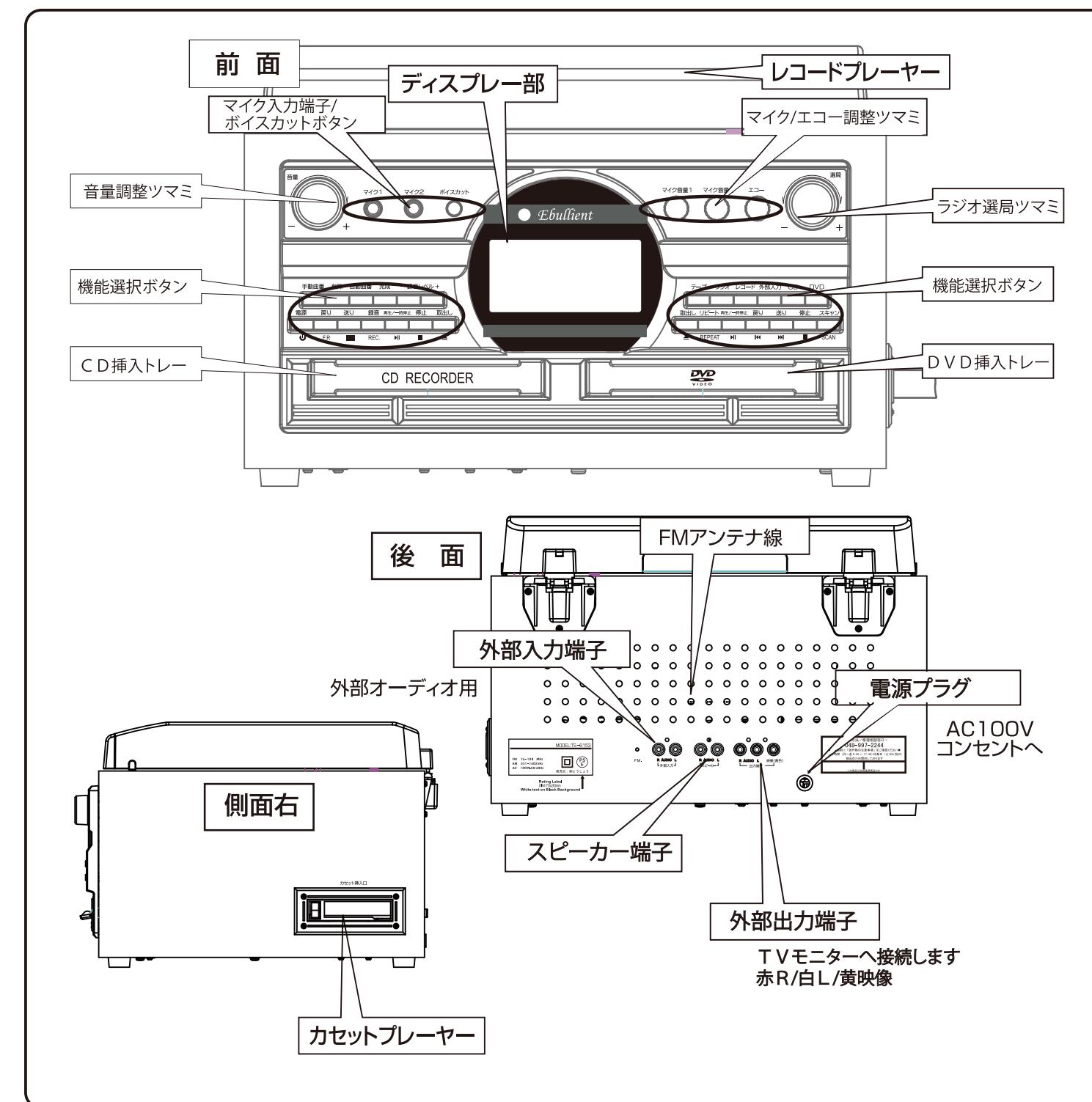
- CDへ録音中に本体／リモコンの手動曲番入ボタンを押すと曲と曲の間に曲間(曲番)ができます。
- 曲と曲の間が短いと次の曲の頭が切れることがありますので押すタイミングにご注意ください。

オーディオ機器などの接続

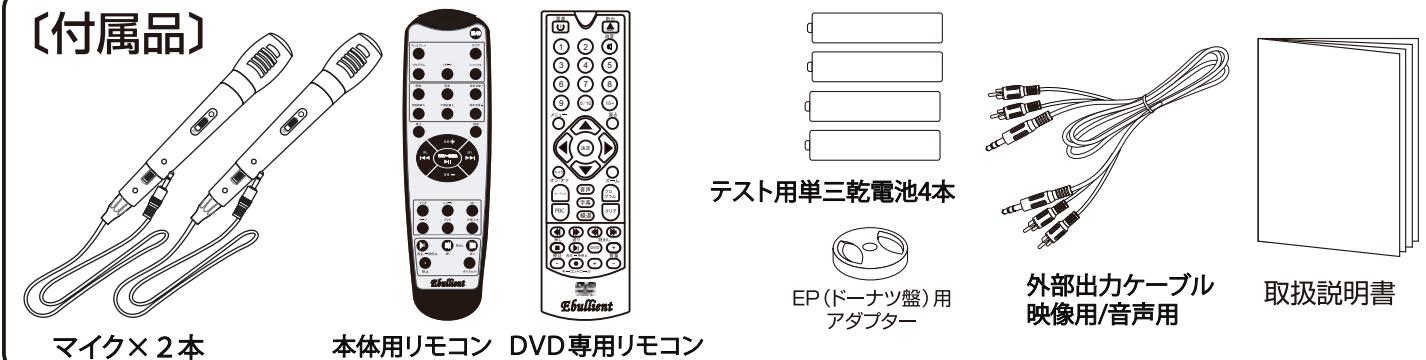
- 外部出力端子(LINE OUT)に外部の機器(ステレオ装置など)に接続すると、本機再生した音を外部の機器を通して聞くことができます。



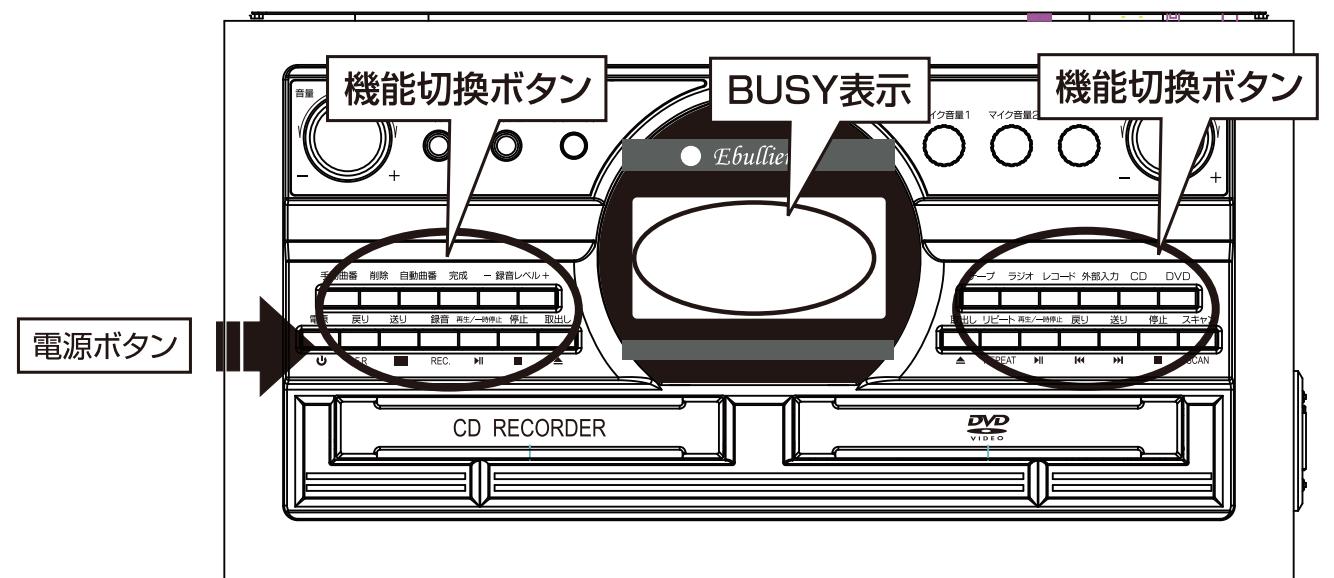
各部の機能と付属品



付属品

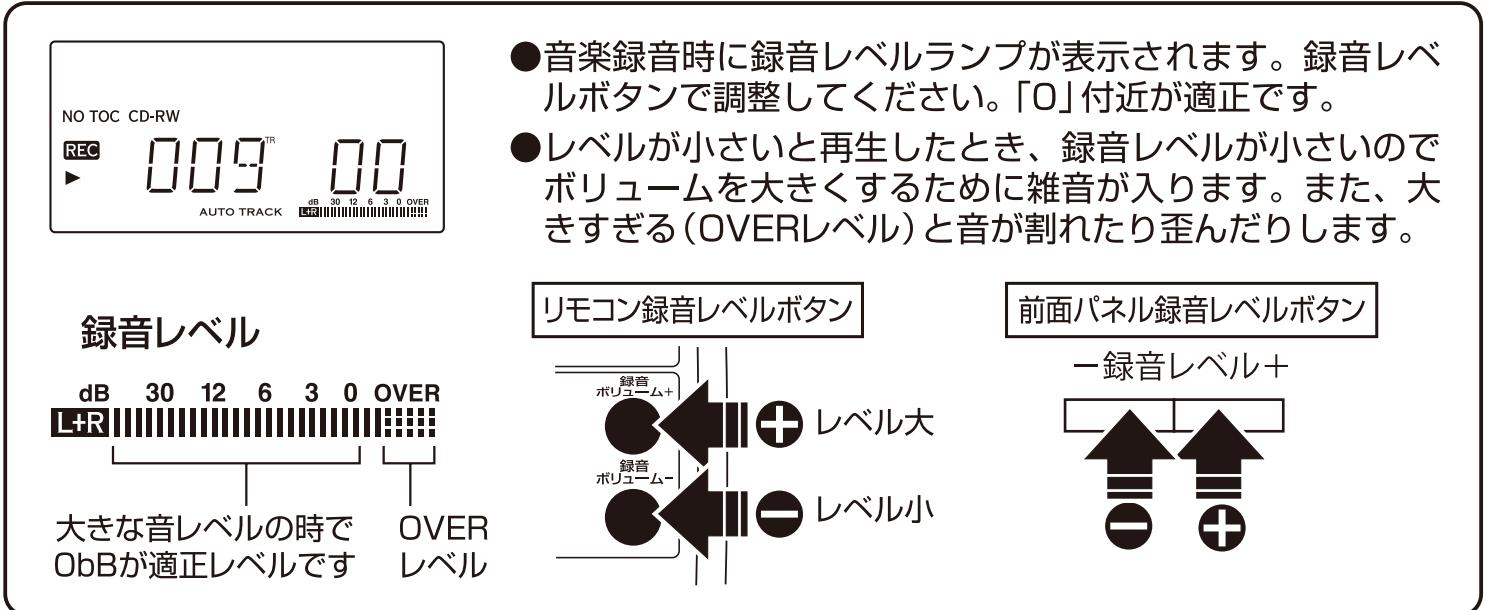


BUSY表示時の注意事項

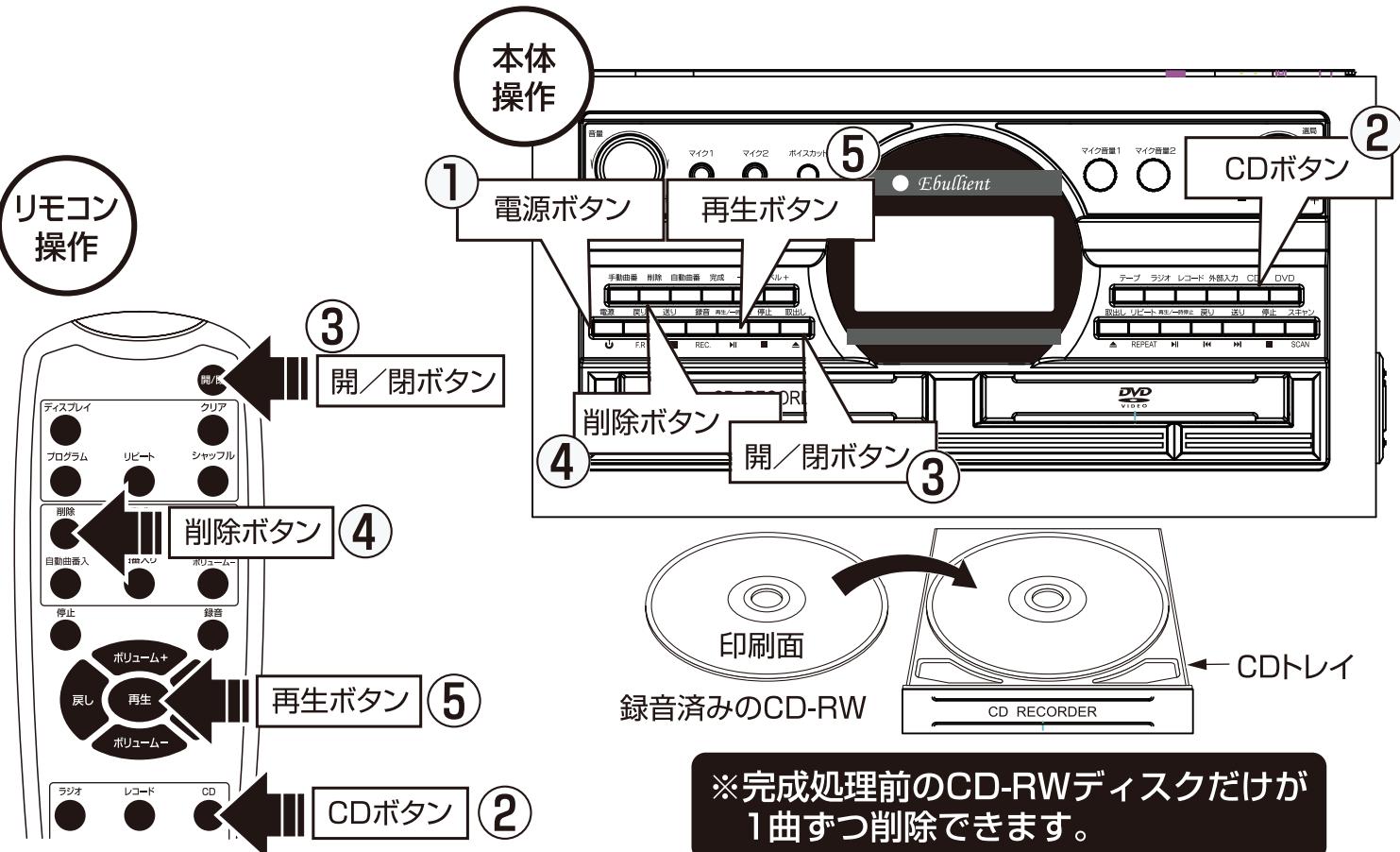


- モード切替時やCD/DVD挿入時ディスプレイに「BUSY」表示がでます。「BUSY」表示の意味は「動作切換中」「処理中」のことです。
- 「BUSY」表示が出ているときは、他のボタンを押さないでください。ディスプレーの「BUSY」表示が消え、他の表示になってから次のボタンを押してください。
- 「BUSY」表示中に他のボタンを何度も押したり、ポンポンと早く押したりすると誤作動をおこし、動作が遅くなったり、「BUSY」表示が消えなくなったり、ボタンが反応しなくなる場合があります。
- そんなときは電源を一度切り、コンセントを抜いて時間を置いて(5分~10分)から、再びコンセントをさして電源を入れてください。それでも機能が回復しないときは、一日置いてからでしてください。

録音レベルの調整について



CD-RWの曲データの消去方法

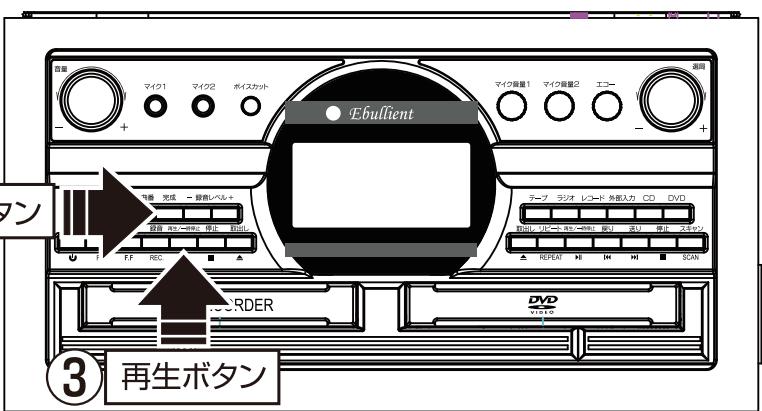


操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① 電源ボタンを押し電源を入れます(ディスプレーが点灯)		ディスプレーに「BUSY」表示が出た場合は消えるまで他のボタンを押さないでください。
② CDボタンを押しCDを選択します	NO DISC	CDが入っていない状態です
③ CDの「取出ボタン」ボタンを押しトレイに録音済CDを入れます	NO TOC CD-RW 01:52:21	OPEN ---BUSY CDの内容が表示されます
④ 削除ボタンを押します (1曲ずつの消去) 削除ボタンを長押しします (全ての内容を消去)	ERASE 15 約8秒間表示 ERASE ALL	左の画面は1曲だけ削除です 一度停止ボタンを押します 長押しするとすべてのデータの削除の画面になります(右の画面)
⑤ CD再生/ 一時停止ボタンを押します	---BUSY	どちらか選んで再生ボタンを押すと消去が開始されます「BUSY」表示
⑥ 消去完了	NO TOC CD-RW 00:00:00	全消去の場合 1~2分かかり消去が完了します 画面に「000 0:00」が表示されます

CDのファイナライズ方法(完成作業)

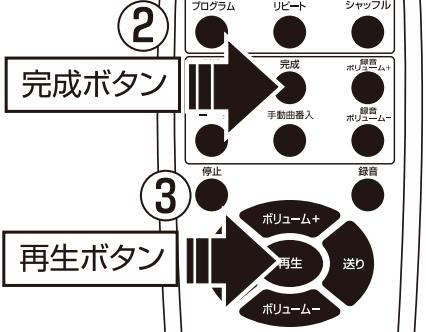
本体
操作

② 完成ボタン



③ 再生ボタン

リモコン
操作



- ファイナライズすると他メーカーのCDプレーヤーで再生可能となります。※ファイナライズしない場合は「CD RECORDER」側のみ再生可能です。
- CDのボタンが選択され、トレイに仮録音されたCD-RまたはCD-RWが入った状態でファイナライズ(完成)作業をおこないます。
- CD-Rディスクはファイナライズすると、追加録音、音楽データの消去ができなくなりますので、ご注意ください。
- CD-RWのディスクはファイナライズしてもデータ消去をすると、もう一度録音可能になります。
- CD-RWのディスクをファイナライズして再生する場合、CD-RWの再生機能がない、他のプレーヤーでは再生できません。

操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
1 仮録音されたCDを左のトレイにセットします	NO TOC CD-RW 01:52:21 CD	セットすると CDの内容が表示されます
2 完成ボタンを押します	FINALIZE CD	「FINALIZE」表示が出て 完成準備ができました(約5秒間表示)
3 FINALIZE表示中に再生ボタンを押します※消えている場合は再度完成ボタンを押します	---BUSY CD	ディスプレーに「BUSY」表示 ファイナライズ(完成)作業中
4 自動的にトレイが開きます	OPEN CD	1~3分かかります 自動でCDが出ます CD完成です

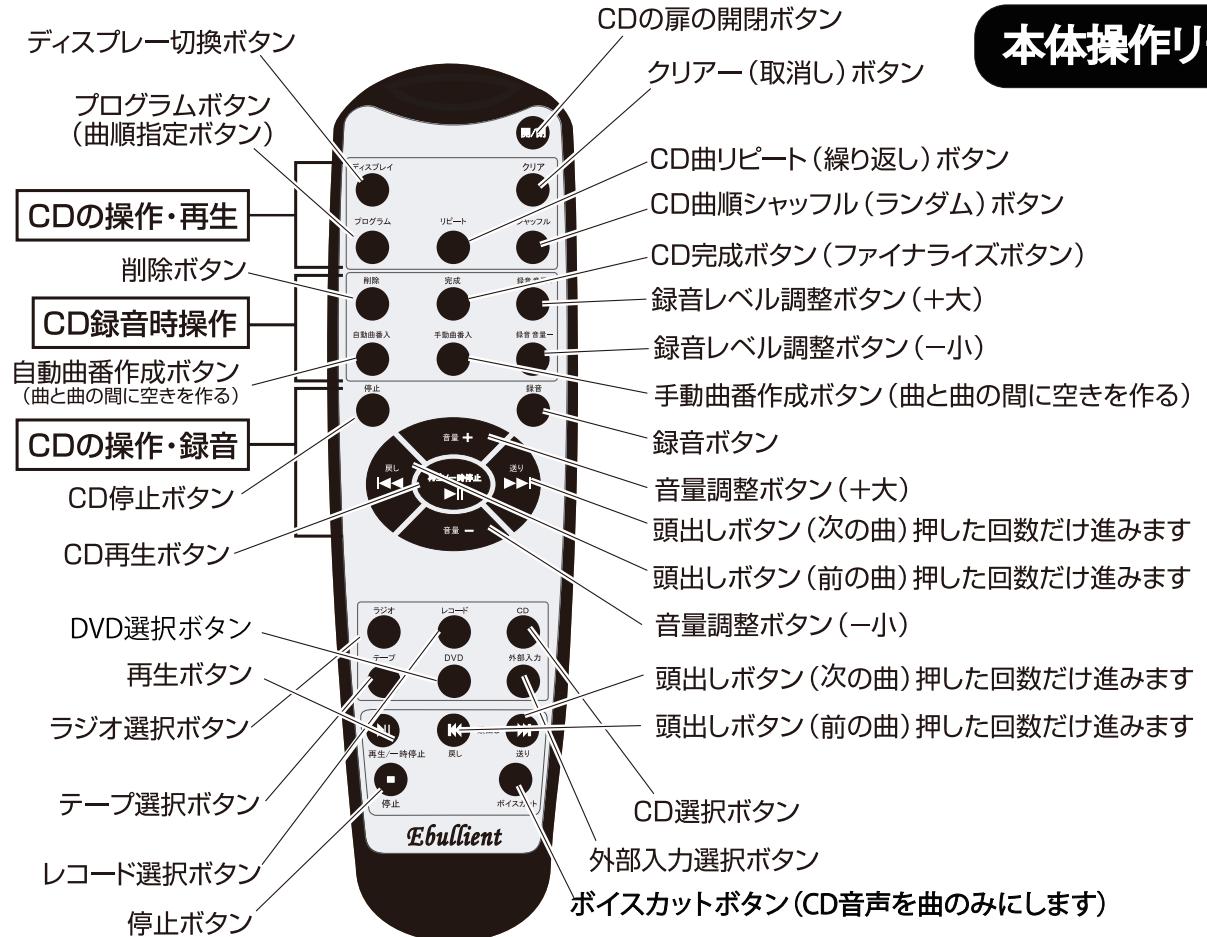
●録音したCD-RWの完成済ディスクの解除することができます。

- 完成済のCD-RWディスクをトレイにセットします。
- 削除ボタンを押すと右図の「UNFINL」が表示されます。
- 続けて再生ボタンを押すと「BUSY」が表示されます。
1~2分で完成処理が解除され(NO TOC表示を確認)
録音された曲数、時間の表示に戻ります。
- 追加録音することができるようになります。

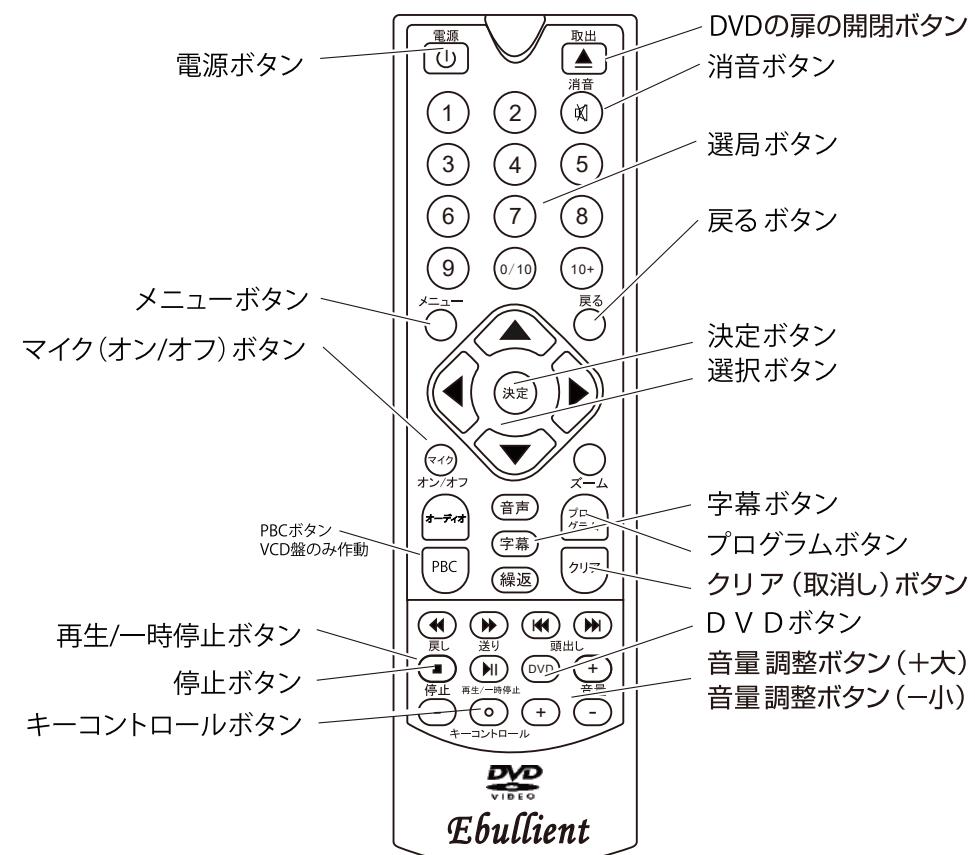


リモコンの各部名称と機能

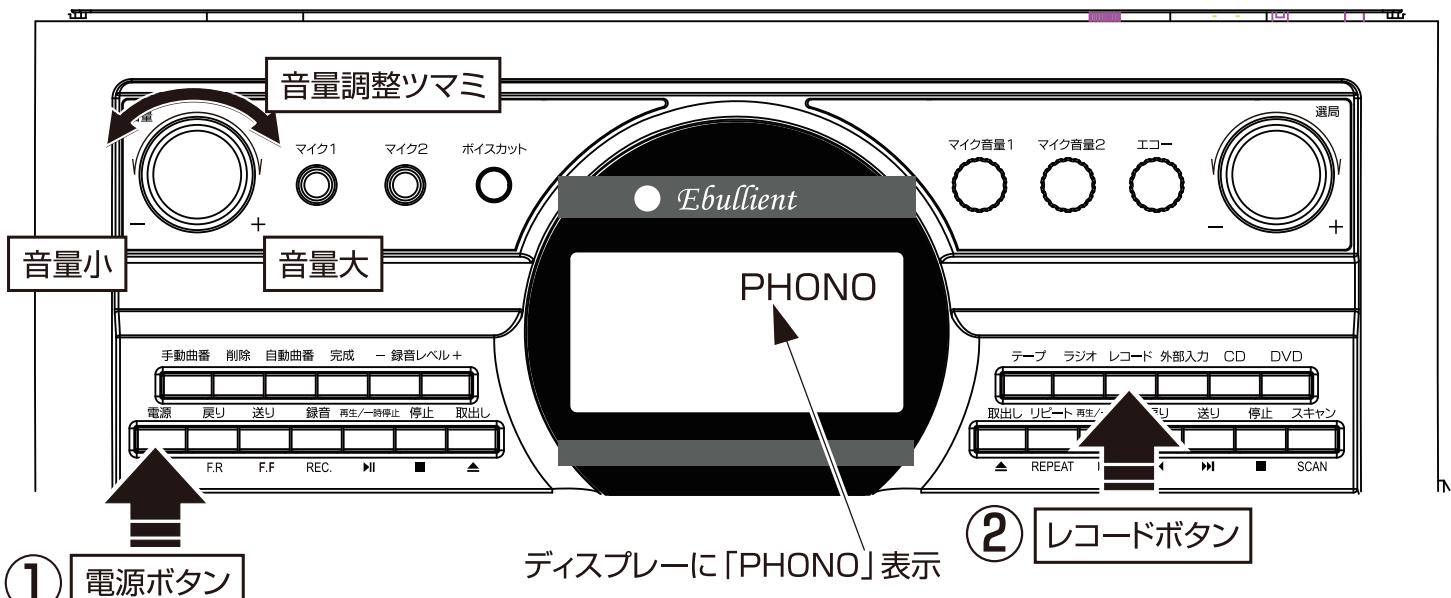
本体操作リモコン



DVD操作リモコン



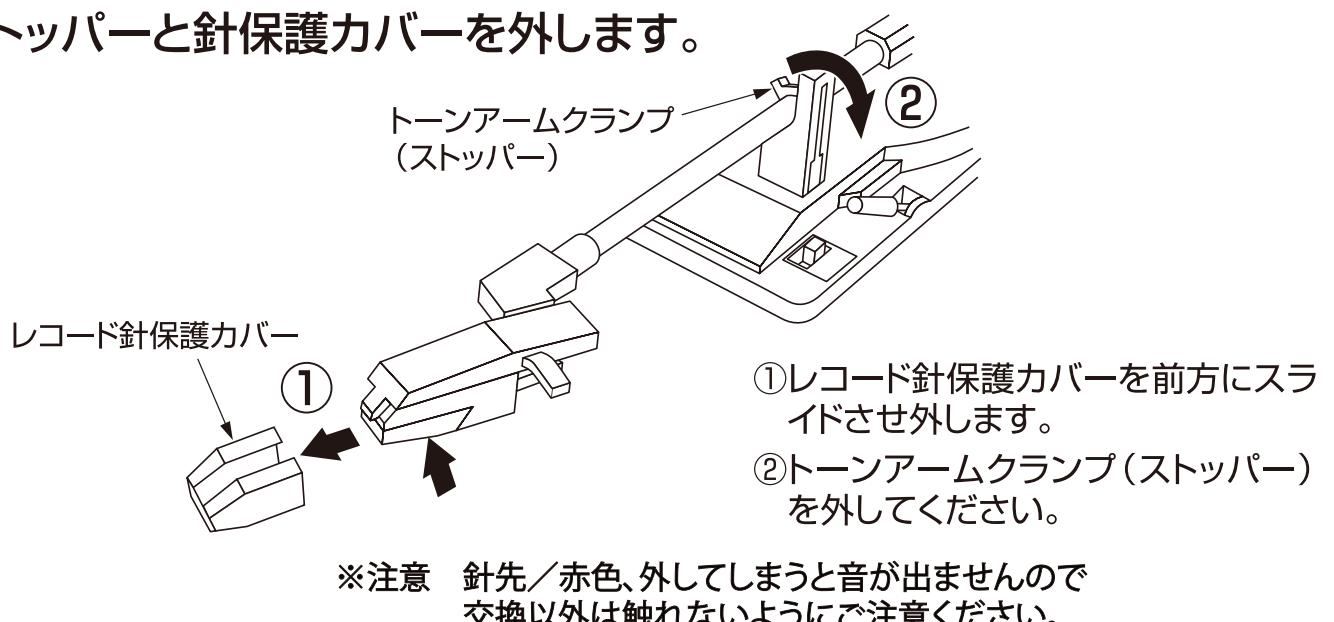
レコードプレーヤーの使い方 (オートリターン機能搭載)



ご使用前の準備スピーカーを背面「外部スピーカー」に差し込みます(赤を右、白を左)。

- ①本体正面左側の「電源」ボタンを押し、スイッチを入れます。「ディスプレイ」が点灯します。
- ②本体正面右側の「レコード」ボタンを押します。
- ③ディスプレイに「BUSY」が表示され、しばらくすると「BUSY」が消え「PHONO」という表示に変わります。
- ④ターンテーブルにお好みのレコード盤をのせます。EP盤場合はアダプターを使用します。
- ⑤ストッパーと針保護カバーを外します。※針先「赤色」は絶対に外さないでください。
右側ターンテーブル図面に沿って操作を行ってください。

●ストッパーと針保護カバーを外します。



操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① 電源ボタンを押し電源を入れます(ディスプレイが点灯)		
② 外部入力ボタンを押します	AUX	BUSY表示がでましたら消えるまで他のボタンを押さないでください
③ CDの取出ボタンを押しトレイに録音用CDを入れます	NO TOC CD-RW AUTO TRACK	曲番入りを入れる場合は自動曲番入ボタンを押しAUTOTRACK表示を確認します
④ 接続したい音楽プレーヤーと背面外部入力端子を接続ケーブルでつなぎます	NO TOC CD-RW 001 AUTO TRACK	本体外部入力接続 外部プレーヤーとの接続を確認します
⑤ 録音ボタンを押し再生一時停止ボタンを押します	NO TOC CD-RW REC 001 0:05 AUTO TRACK	録音がスタートします
⑥ 接続した音楽プレーヤーを再生させます	NO TOC CD-RW REC 001 0:05 AUTO TRACK	スピーカーより音声がでます
⑦ 停止ボタンを押します	NO TOC CD-RW 015 21:21 AUTO TRACK	接続している外部音楽プレーヤーも停止ボタンを押します

上記で録音終了です。完成処理を行っておりませんので追加で録音することができます。
但し、他のプレーヤーでは聴くことはできません。
CD約74分録音が可能ですので残りの録音可能時間を確認し追加録音／完成処理を行ってください。
※完成処理(ファイナライズ)はP. 26をご参照ください。



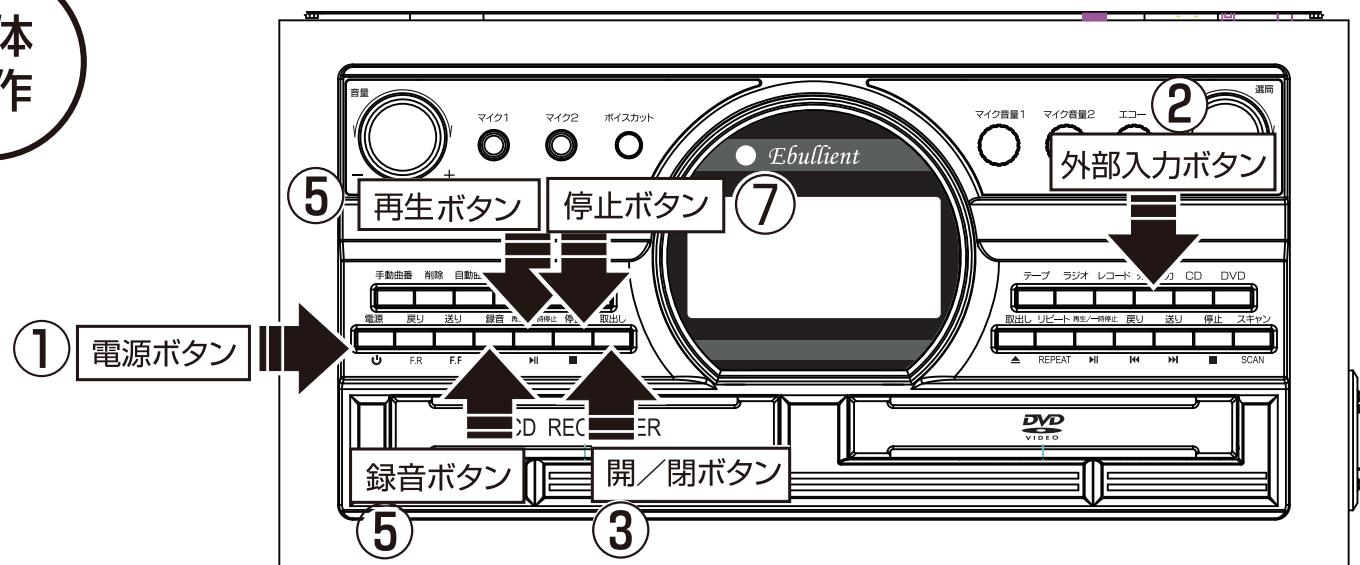
●接続する音楽プレーヤーの出力によって本録音状態も異なります。
また、出力音量の大きさによっても録音後の再生に差が生じます。

※特に出力10W以上のプレーヤーの本機接続は互換性により故障の原因になることがありますのでお止めください。

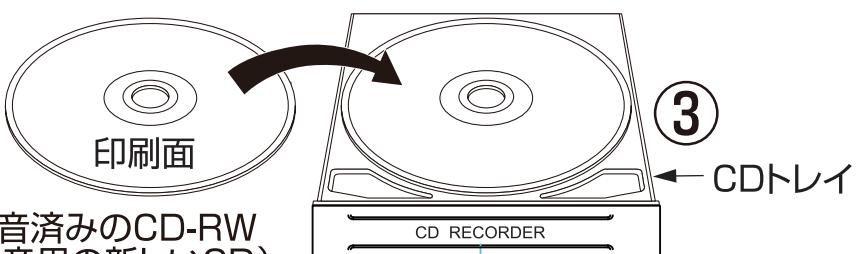
音楽プレーヤーからCDへの録音方法

※録音に使用するCDは使い慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

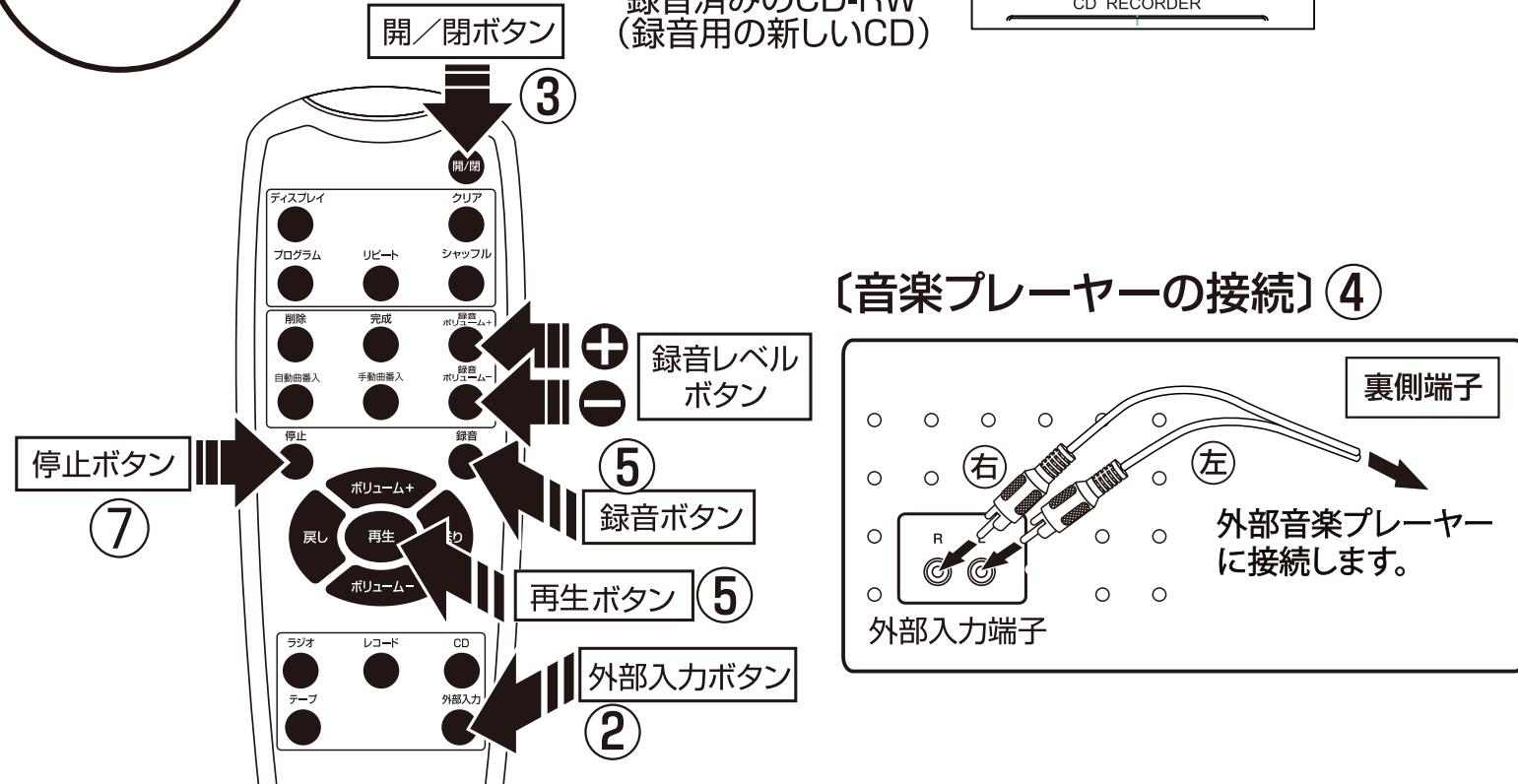
本体操作



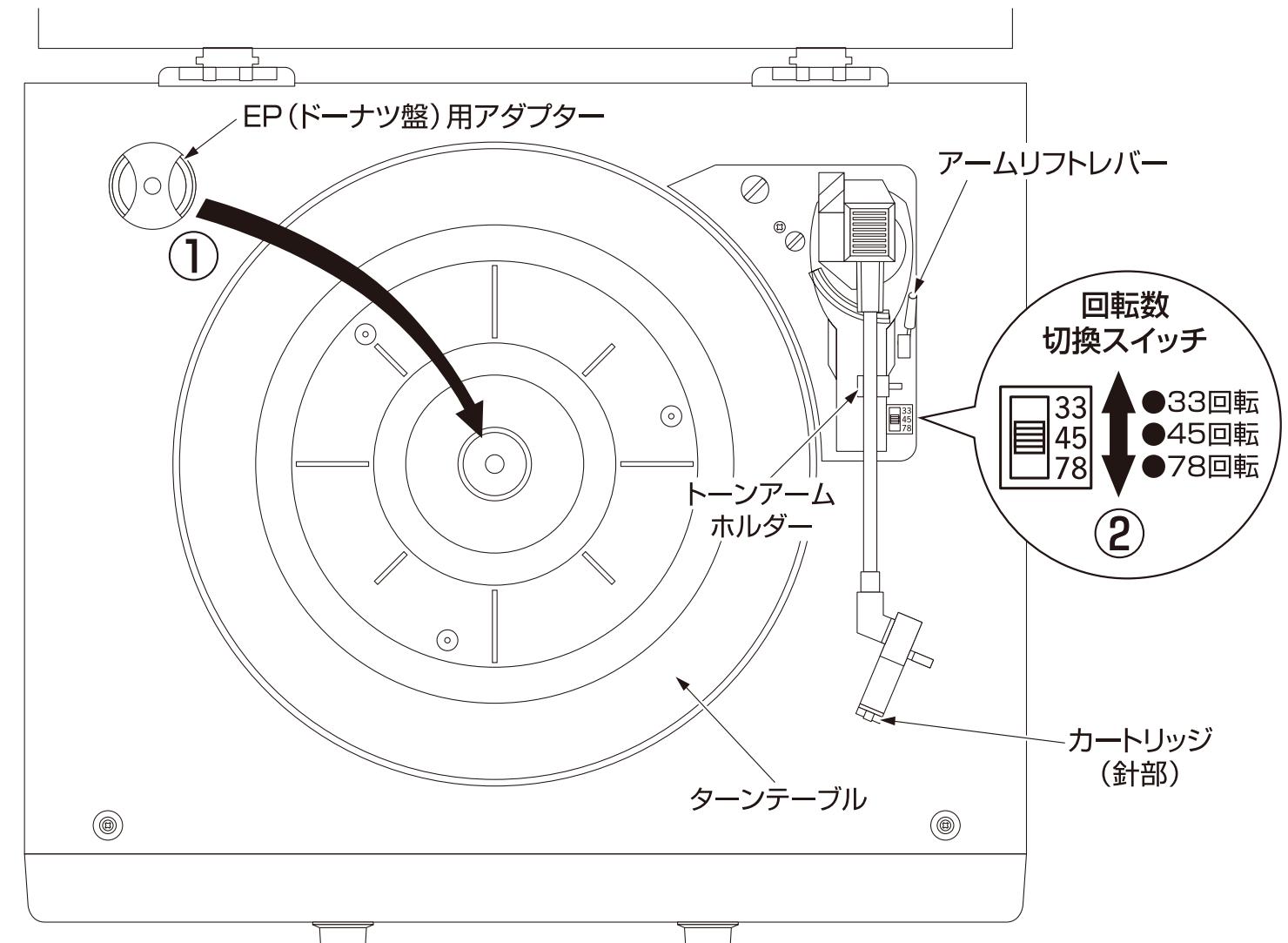
(CDのセット方法)



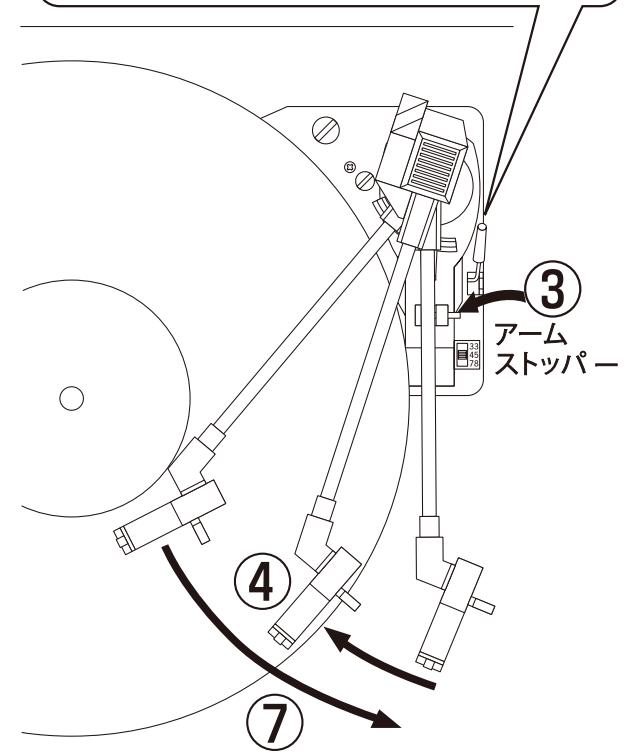
リモコンで できる操作



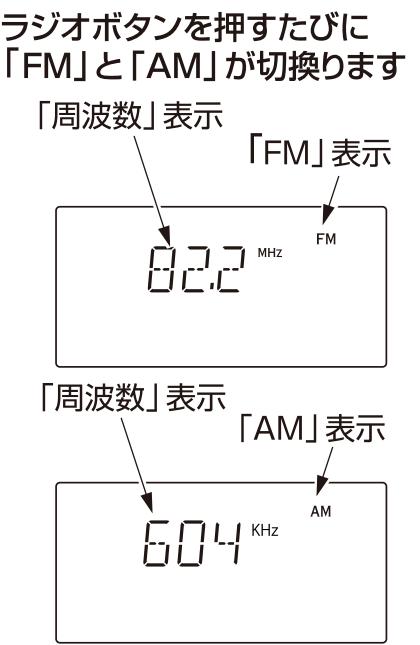
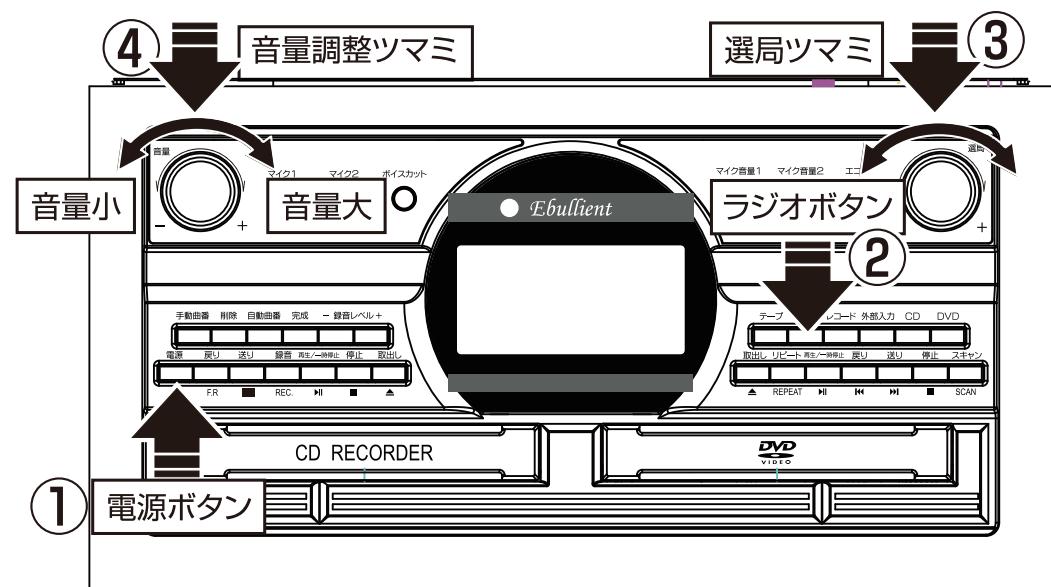
(音楽プレーヤーの接続) ④



- ①レコードをターンテーブルにのせます。EPレコード(ドーナツ盤)を聞くときは、センター軸に「アダプター」をのせてレコードをセットしてください。
- ②レコードの種類に応じて、「回転数切換」スイッチをスライドさせ、スピードを合わせます。
- ③アームストッパーを外します。
- ④針のついたヘッドをレコードのフチ(音楽が始まる所)部に手で置きます。ターンテーブルが回り始め演奏が開始されます。
- ⑤レコードを途中から聴く場合はお好みのところでアームリフトを前方に倒します。
- ⑥「音量調整ツマミ」を回して、調整してください。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。レコードの演奏が終ると、自動でアームホルダーに戻り、ターンテーブルも停止します。
※オートリターン機能
- ⑦レコードの演奏途中でストップしたい場合は、レコード盤を傷つけないように静かにアームリフトを後方に倒し、アームをホルダーに手で戻してください。



ラジオの使い方



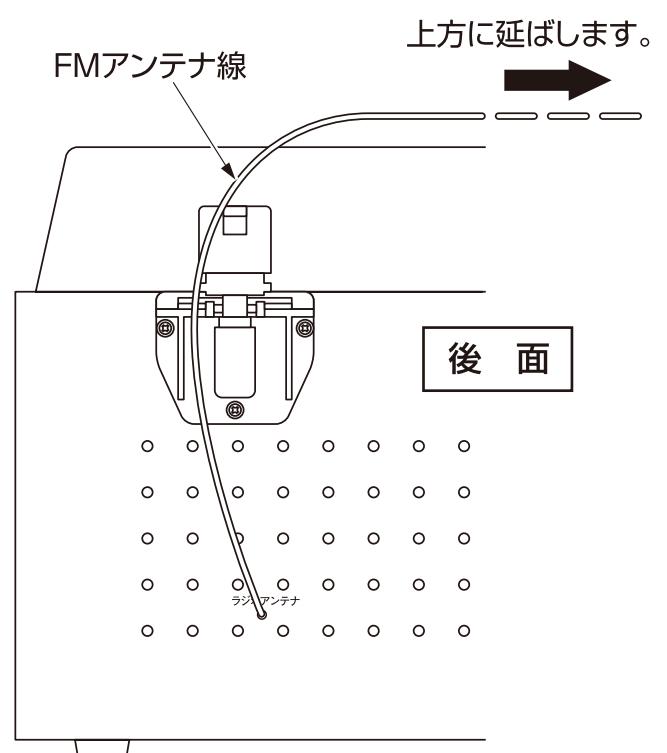
- ①前面パネルの「電源ボタン」を押して電源を入れます。「ディスプレー」が点灯します。
- ②「ラジオ」選択ボタンを押します。「AM」か「FM」が表示されます。もう一度押すとバンドが切換ります。ディスプレーを見て、お聴きになりたいAM放送かFM放送を選択してください。
- ③「選局ツマミ」を回して、お聴きになりたいラジオ局(周波数)に合わせます。
- ④音量調整ツマミを左右に回し、お好みの音量でお聴きください。(リモコンの音量調整ボタンでボリューム+【音量大】、ボリューム-【音量小】で調整)

●外部FMアンテナの取付け

「FMアンテナ線」は、なるべく高いところに長く伸ばして取付けてください。
電波の状態、本機の設置場所によって位置を調整してください。

●AM放送を聴く時の注意

AMの電波は高い建物の影や鉄筋コンクリートのマンション内など、電波を受信しにくい場所があります。
本機の置き場所や向きを変え、電波を受信しやすい状態にしてお使いください。



操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① 電源ボタンを押し電源を入れます ディスプレイが点灯します		BUSY表示の場合は消えるまで他のボタンは押さないでください
② CDボタンを押します	---BUSY	NO DISC表示がでます CDが入っていないという意味です
③ CDの取出ボタンを押し トレイに録音用CDを入れます	NO DISC	CDの向きを確認(キラキラ光っている面が下向き)ボタンで閉めます
④ テープボタンを押します	TAPE	TAPE表示がでます
⑤ 録音ボタンを押します	NO TOC CD-RW REC 001 AUTO TRACK	曲番を入れる場合は自動曲番入ボタンを押しAUTOTRACK表示を確認します
⑥ CD再生ボタンを押します	NO TOC CD-RW REC 001 0:02 AUTO TRACK	録音スタート
⑦ カセットの向きを確認し カセット挿入口に入れます	NO TOC CD-RW REC 001 0:05 AUTO TRACK	スピーカーから音声が出ます
⑧ CD停止ボタンを押します	NO TOC CD-RW 015 21:21 AUTO TRACK	録音を止めます
⑨ カセット取り出しボタンを 押しカセットを取り出します	NO TOC CD-RW AUTO TRACK	取り出しボタンを「ギュっと」押します

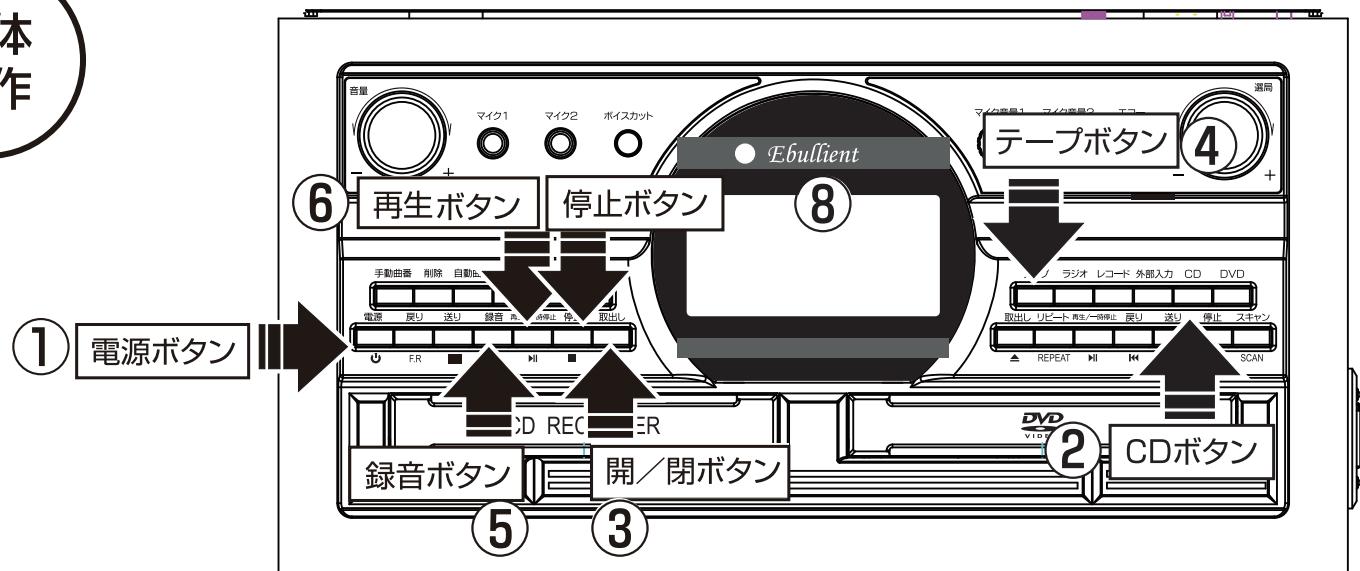
上記で録音終了です。完成処理を行っておりませんので追加で録音することができます。
但し、他のプレーヤーでは聴くことはできません。CD約74分録音が可能ですので残りの録音可能時間を確認し追加録音／完成処理を行ってください。

※ファイナライズ(CDの完成)はP.26をご参照ください。

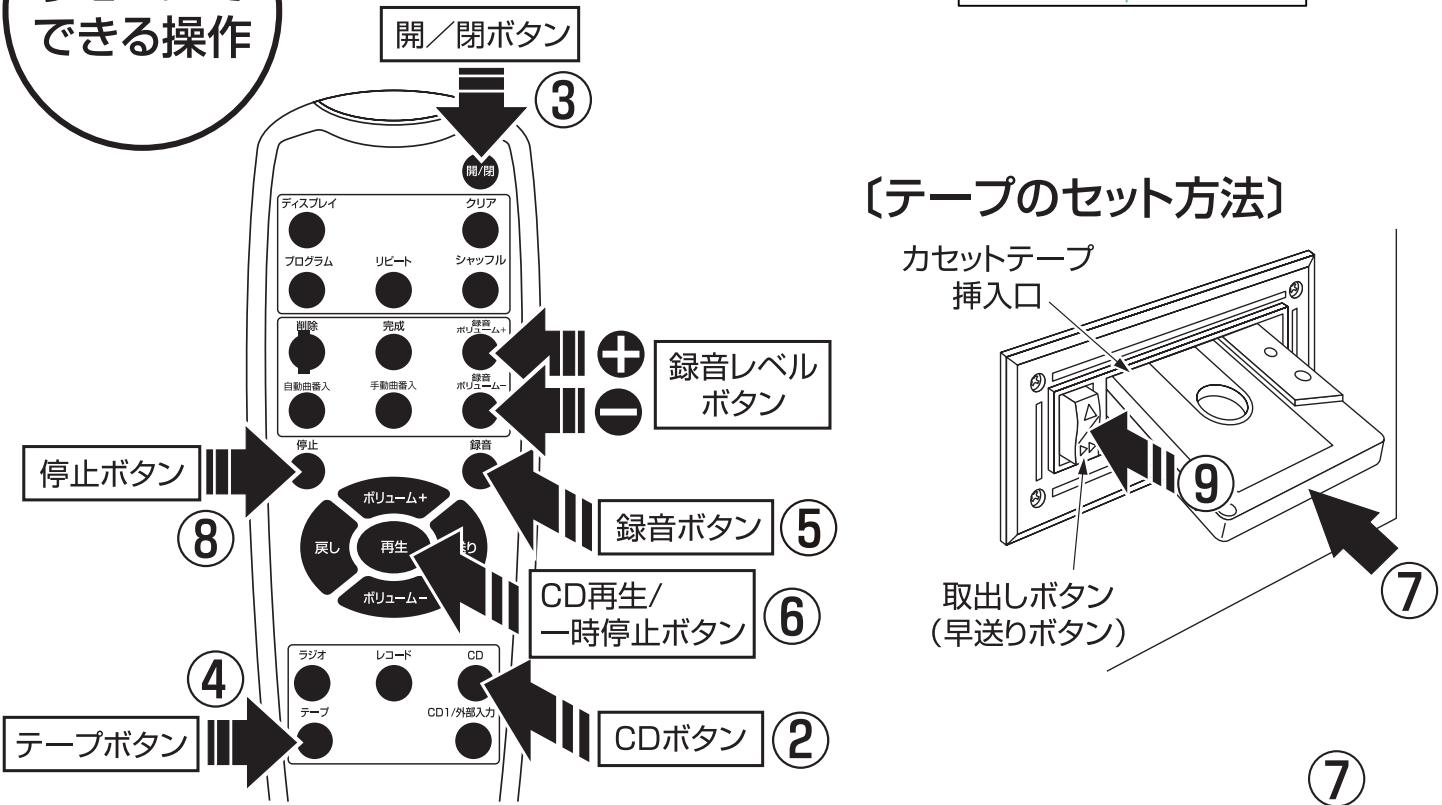
テープからCDへの録音方法

※録音に使用するCDは使い慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

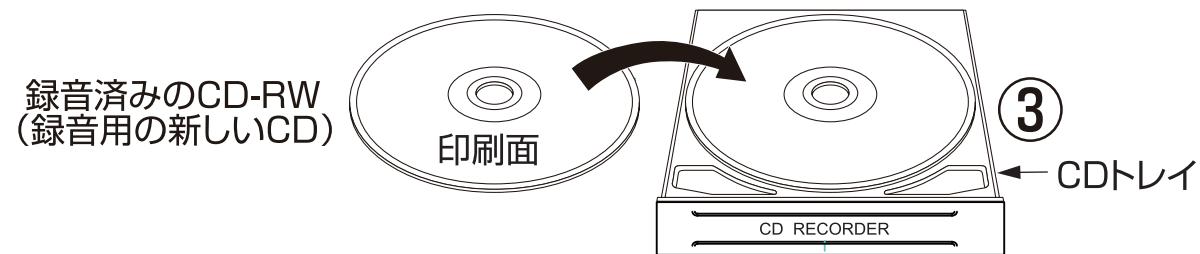
本体操作



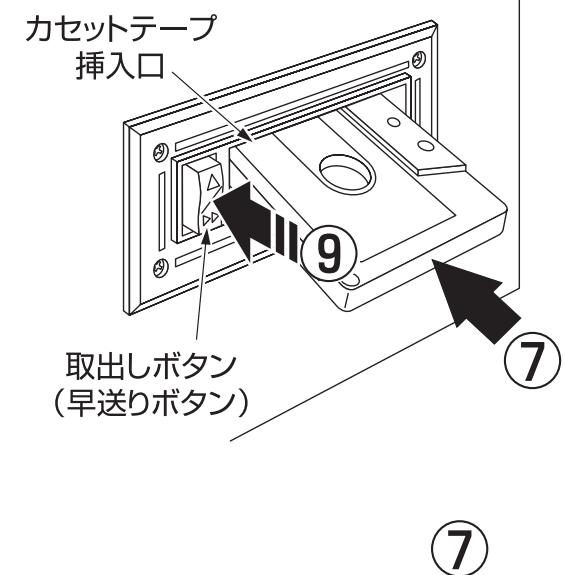
リモコンでできる操作



(CDのセット方法)

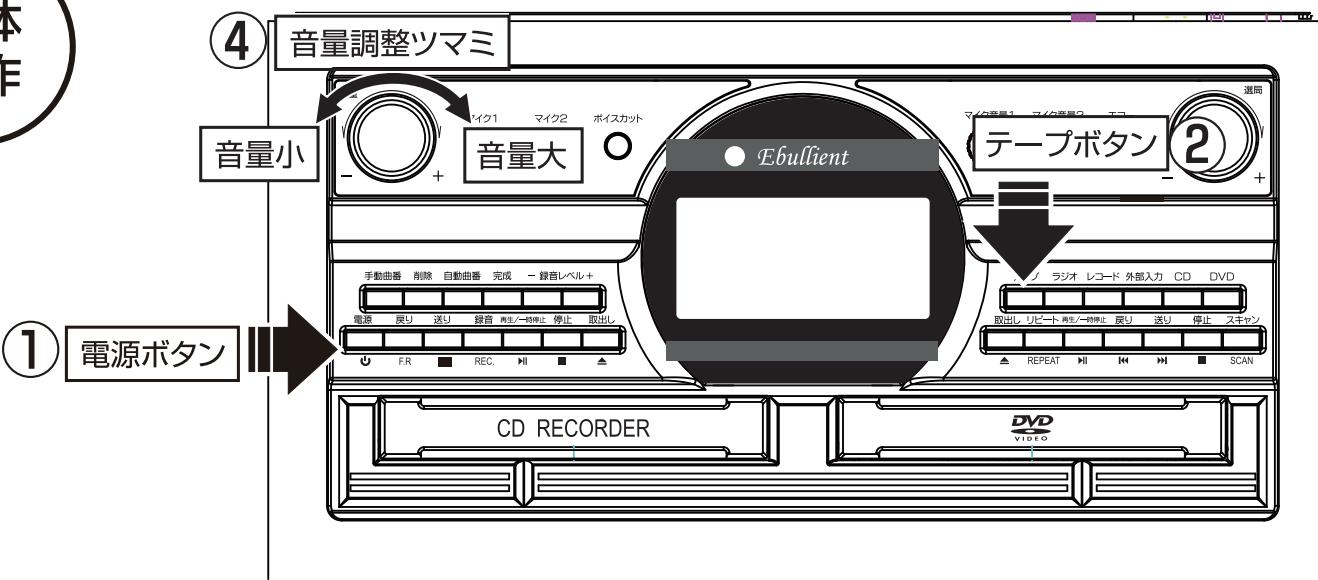


(テープのセット方法)

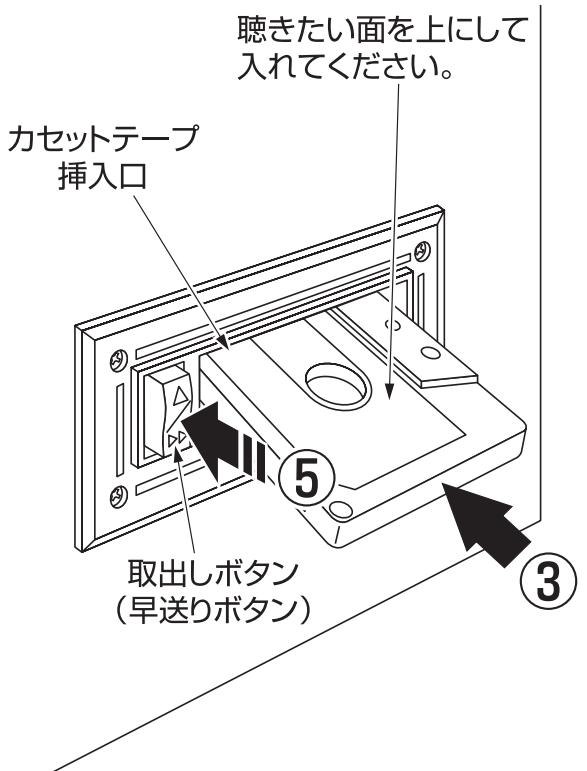


カセットプレーヤーの使い方(再生専用)

本体操作



聴きたい面を上にして
入れてください。



- ① 前面パネルの「電源ボタン」を押して電源を入れます。「ディスプレー」が点灯します。
- ② 「テープ」選択ボタンを押します。ディスプレーに「busy」表示後「TAPE」が表示されます。
- ③ 「カセットテープ挿入口」へ、聴きたい面を上にして図のように押し入れます。自動的に音楽を再生します。
- ④ 音量調整ツマミを左右に回し、お好みの音量でお聴きください。(リモコンの音量調整ボタンでボリューム+【音量大】、ボリューム-【音量小】で調整)
- ⑤ 入口の左側にある「取出しボタン」を押すとテープが早送りされます。テープを取り出すときは、さらに強く押すとテープが取り出せます。

※巻戻し機能はありません。テープ巻戻しの場合は一旦テープを取り出し反対面で早送りをしてください。

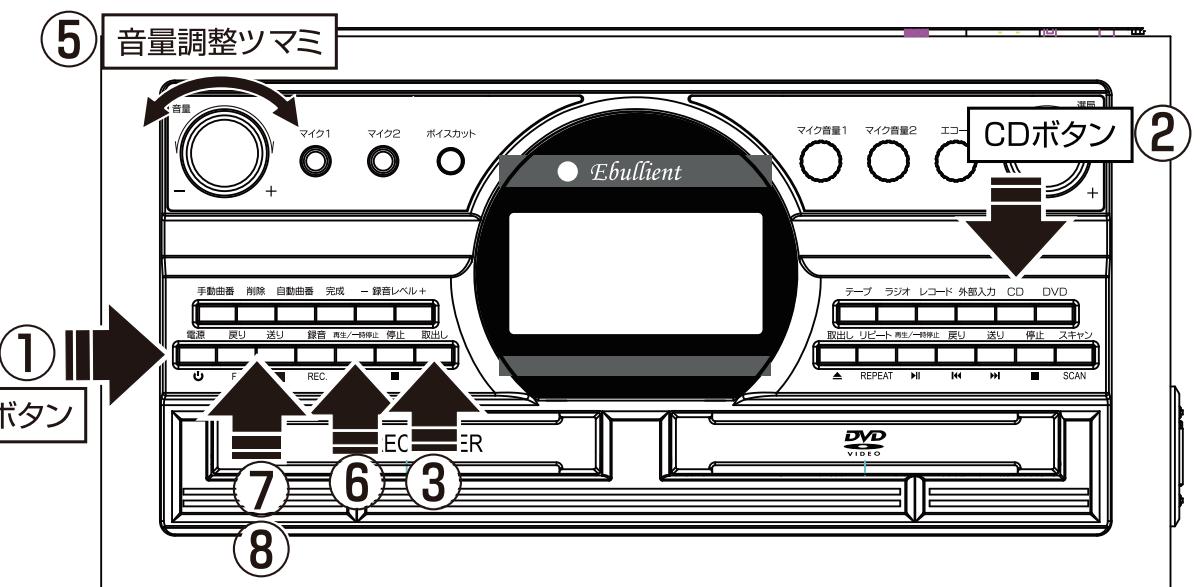
注意

- 機器に入る前に、テープをチェックしてください。ゆるんでいるとトラブルの元になりますので、片方の穴に鉛筆などを入れ、方向にしたがって軽く巻いて、ゆるみをなくしてから使用してください。
- 使用するテープは、60分までをご使用ください。
それ以上のカセットテープの場合、機器の安定性が悪いので、ご使用にならないでください。

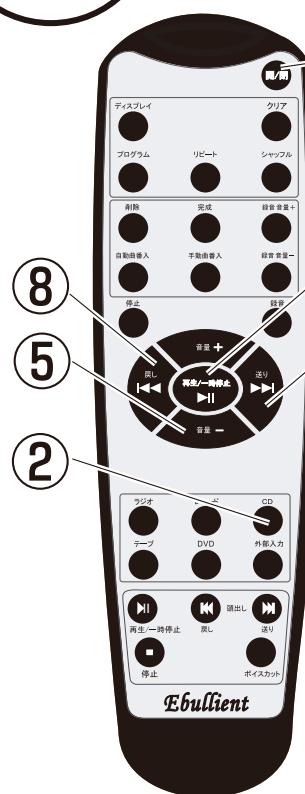
CDプレーヤーの使い方 (左側トレイ)

本機は左側録音用リピート、ランダム、プログラムは左側、ボイスカットは右側トレイで再生したときのみ操作可能です。リピート、ランダム、プログラムは左側トレイ／ボイスカット機能は右側トレイで再生したときのみ機能します。下記図面操作方法は左側トレイでの操作方法です。

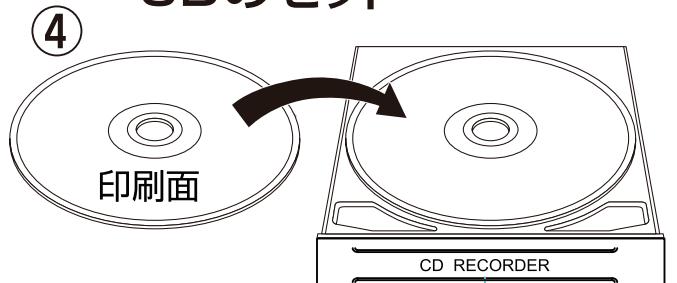
本体操作



リモコンでできる操作



CDのセット



- ①電源ボタンを押す。②CDボタンを押す。
③開/閉ボタンを押してトレイを開く。
④トレイにCDをセットします、トレイが閉じると自動で再生します。
⑤音量ツマミでお好みに合わせます。
⑥再生/一時停止ボタンを押すと一時的に再生がとまります
もう一度押すと再生が再開します。
⑦再生中または停止中に送りボタンを押すと1曲先を再生します。
⑧再生中または停止中に戻りボタンを押すと1曲後を再生します。
※送り/戻りボタンは繰返し押すことで押した分だけ先/後に進みます。

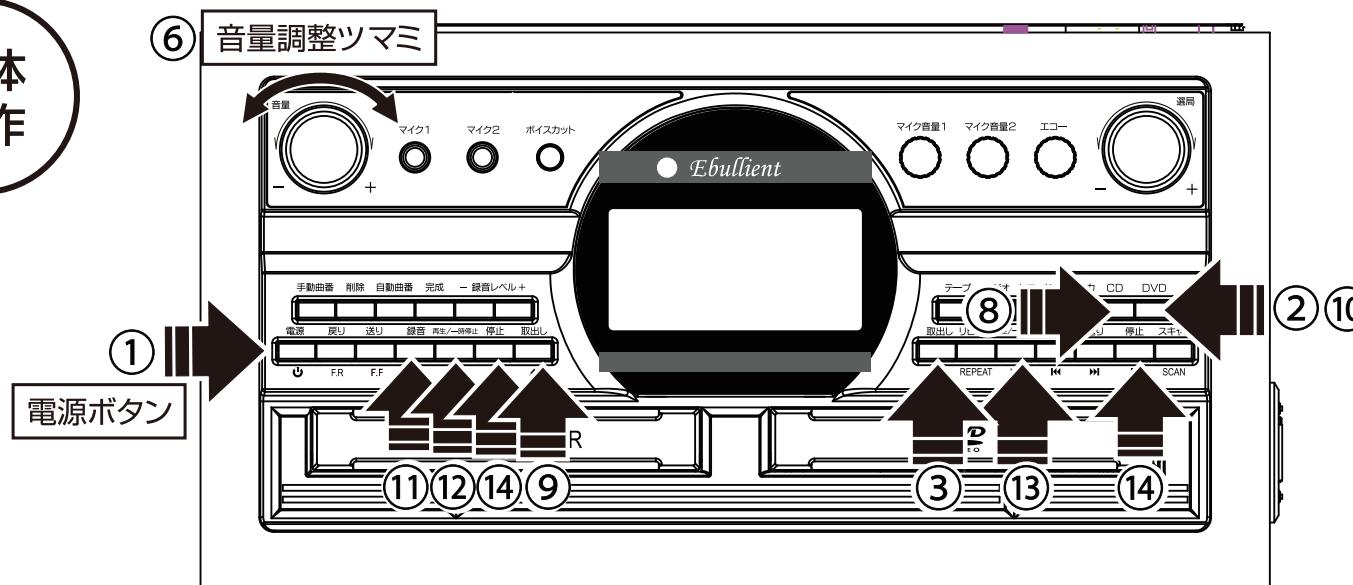
操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
1 電源ボタンを押します ディスプレーが点灯します		ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで 次のボタンを押さないでください
2 DVDのボタンを押します 本機正面のマイク端子に マイクを差込みます	NO DISC DVD	ディスプレーに「NO DISC」表示
3 取出しボタンを押しCDを セットします(自動再生)	001 0:05 DVD	トレイは必ず「取り出しボタン」で閉める 手で閉めますと不具合の原因となります
4 セットされるCDにもよりますが自動再生の場合は停止ボタンを2回押すことにより曲の頭に戻ります。 液晶表示は停止した時点のカウントで停止していますが再生時は曲の頭からの再生になります		
5 マイク音量、エコー/ キーコントロールを本機または リモコンで調節します	001 0:05 DVD	本機またはリモコンの音量調節 でお好みに合わせてください
6 CDボイスカット録音の場合はマイク音量/エコー、キーコントロール等の調整を あらかじめ再生時にテストを行ってください。(CD-Rへの録音の場合は一切の削除はできません)		
7 CDボイスカットの場合は一度再生テストにてボイスカット「ボーカルラインを抑える機能」が作動することを確認して から録音操作に進んでください。(CDの録音状態によってはボイスカット機能効果が出ない場合があります) P.13 ボイスカット機能は一度CDの停止ボタンを押すと解除されます。使用時に再度ボタンを押します。		
8 CDのボタンを押します	NO DISC	busy表示がでましたら消えるまで 他のボタンを押さないでください
9 開/閉ボタンで録音用の CDをセットします	NO TOC CD-RW 0000 00 CD	CDの向きを確認しセット してください
10 DVDのボタンを押します 自動再生しますので停止ボタン で再生を止めます	①CLOSE NO TOC CD-RW ② 001 0:05 DVD	停止ボタンを2回押します 再生ボタンで頭からの再生です
11 録音ボタンを押します	CLOSE AUTO TRACK DVD NO TOC CD-RW REC 001	曲番入りを入れる場合は 自動曲番ボタンを押し AUTO TRACK表示を確認します
12 CD再生ボタンを押します	CLOSE DVD NO TOC CD-RW REC 001 0:05	録音開始
13 DVD再生ボタンを押します	015 21:21 DVD NO TOC CD-RW REC 001 0:05	ボイスカット効果(メロディー)と マイクからの音声が録音されます。
14 CDボイスカット録音停止の場合 CD(録音)停止/DVD(再生)停止 ボタンを押します。	CLOSE DVD NO TOC CD-RW	

※ファイナライズ(CDの完成)はP.26をご参照ください。

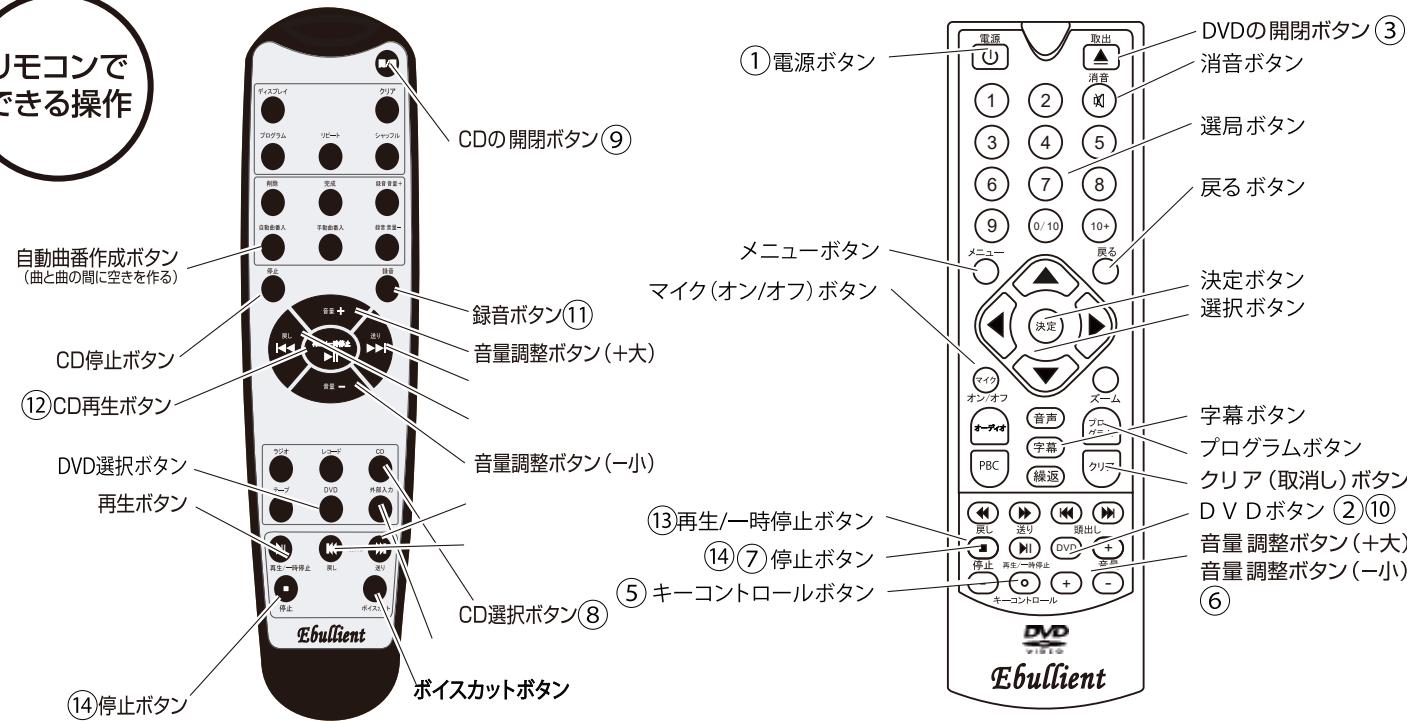
CDからCDへの録音方法

※録音に使用するCDは使い慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

本体
操作

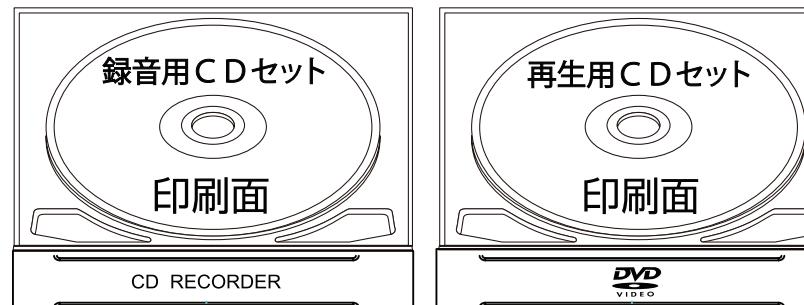


リモコンで
できる操作



〔CDのセット方法〕

CDからCDへの録音の場合
再生用CDは右側DVDトレイにセットし
ます。左側トレイには録音用CD-R/RW
をセットします



※DVDプレーヤーでのCD再生時はリピートALLのみ操作可能です。
プログラム／シャッフル操作はできません。

CD再生時の応用機能

リピート再生

※リモコンのみ

- ①再生中に「リピート」ボタンを押すと REPERAT ALLが表示されます。
全曲を繰り返し再生します。
- ②もう一度「リピート」ボタンを押すと REPERAT 1が表示されます。
1曲を繰り返し再生します。
- ③さらに「リピート」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。

シャッフル再生

※リモコンのみ

- ①停止状態または再生中に「シャッフル」ボタンを押すと「SHUFFLE」が表示されます。
全曲の順番が不規則に入れ替わって再生されます。
- ②さらに「シャッフル」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。

プログラム再生

※リモコンのみ

- ①お好みの曲順に20曲までプログラム再生できます。
- ②停止状態で「プログラム」ボタンを押すとディスプレーに 001-01 が点灯します。
- ③「送り／戻し」ボタンを押して選択したい何曲目かの数字をディスプレーに出し、「プログラム」ボタンを押すと登録され、P-02 が点灯します。
これをくり返し曲順を登録してください。
- ④「再生」ボタンを押すと登録した順に再生されます。
- ⑤プログラム再生を終了するには、「停止」ボタンを 2 回押し、「プログラム」表示を消してください。

MP3のCD再生

パソコンなどで製作されたMP3のCDを再生することができません

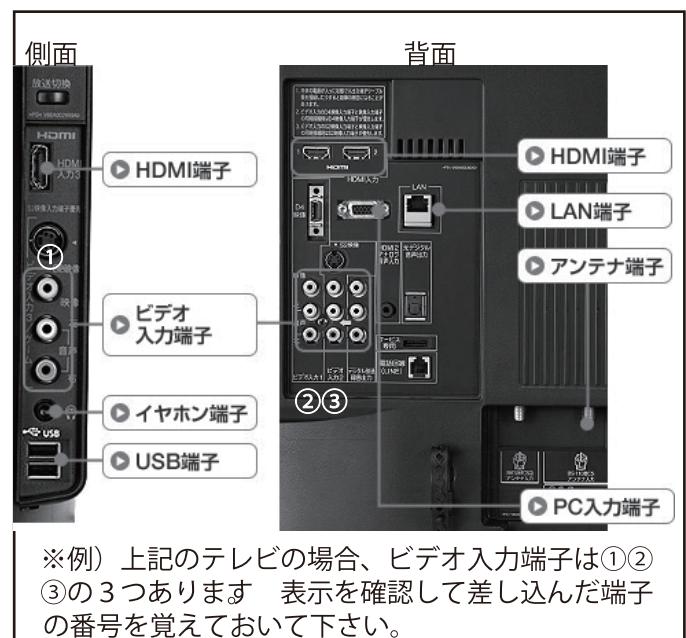
DVDプレーヤーの使い方

DVDを使用するにあたりTVモニターとの接続が必要になります。必ず下記をお読みになっていたい
だき準備作業(TVとの接続)を行ってください。

1. テレビ側の「ビデオ入力」の映像端子(黄色)に付属の黄色いコードを差し込む。

※テレビによって、入力端子のある場所が違います。
場所についてはテレビの取扱説明書を参照願います。
また、テレビによって、入力端子が複数あり、端子に番号が割り当てられています(例:ビデオ入力1、ビデオ入力2など)。
端子が空いていれば、どの番号の端子に差し込んでいただいても結構ですが、差し込んだ端子の割り当て番号は覚えておいて下さい。

2. 1でテレビに差し込んだ映像コードの反対側を本機プレーヤーの背面にある「出力端子」の映像端子(黄色)に差し込む。



3. 本機プレーヤー、テレビの電源をそれぞれ入れる。

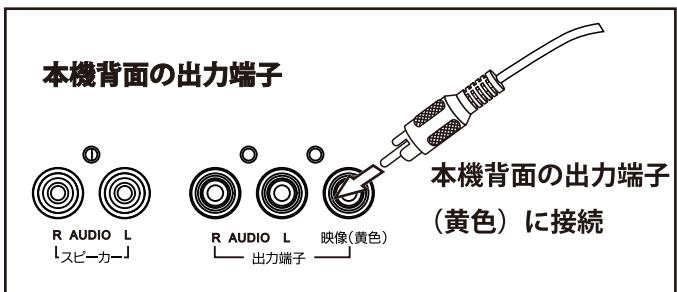
4. 本機プレーヤーの機能切替ボタン「DVD」を押す。

5. テレビリモコンの「入力切替」ボタンを押す。テレビ画面に入力選択のウインドウが開くので、テレビのリモコンを操作し、「ビデオ入力」に合わせる。テレビによっては「ビデオ入力1」「ビデオ入力2」など番号が割り当てられているので、その場合はテレビ背面に差し込んだ番号のビデオ入力に合わせてください。任意の「ビデオ入力」画面で「DVD VIDEO」という表示が出れば、接続は正しく行われています。

※ 例) 上記のテレビの場合、ビデオ入力端子は1、2の二つあります。表示を確認して、差し込んだ端子の番号を覚えておいて下さい。

右面の取扱手順にしたがって本機の操作をお願いします

DVDによっては、そのまま本編の再生が始まるものや、メニュー画面になり、各種設定を行うものもあります。DVDのに応じて、本機付属のDVDプレーヤー用リモコンにて操作をして下さい。



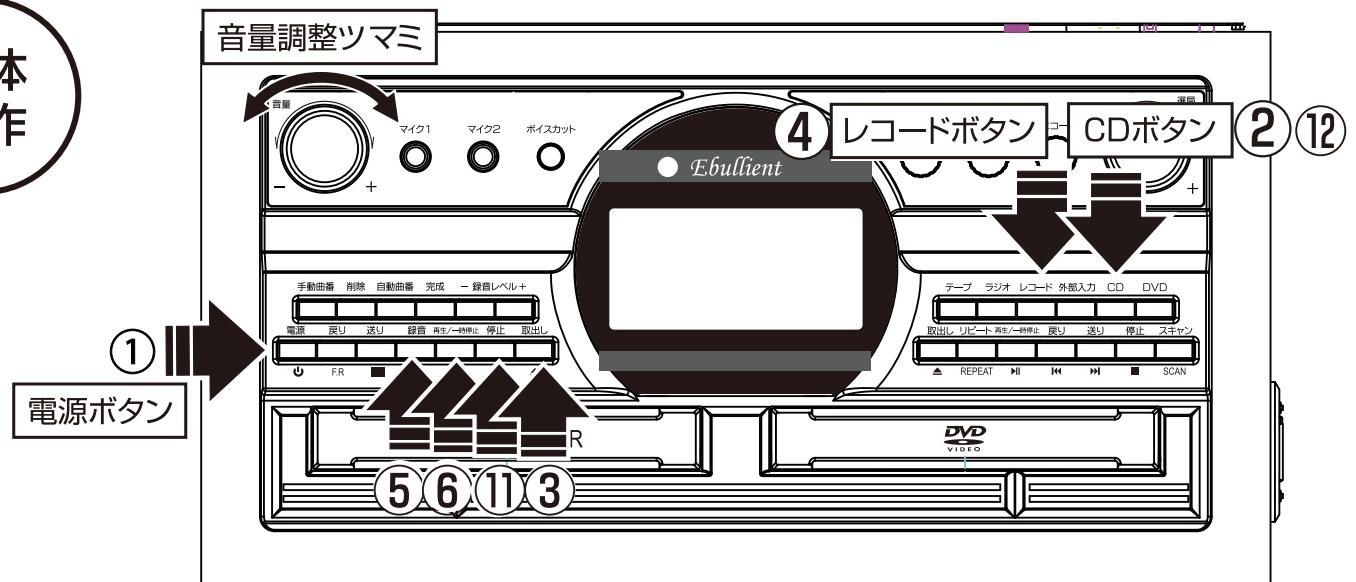
操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
1 電源ボタンを押し電源を入れます(ディスプレーが点灯)		ディスプレーに「BUSY」表示 「BUSY」表示が消えるまで次のボタンを押さないでください
2 CDボタンを押しCDを選択します	NO DISC	ディスプレーに「NO DISC」表示 CDが入っていない状態
3 CDの取り出しボタンを押しトレイに録音用CDを入れます	NO TOC CD-RW 0000 00 AUTO TRACK	CDの表・裏を確認して入れます ディスプレーに「000 0:00」表示
4 レコードボタンを押しターンテーブルにA面を上にレコードをのせます	PHONO NO TOC CD RW	レコードを傷付けないように扱ってください
5 CDの録音ボタンを押します	PHONO NO TOC CD-RW REC 001 AUTO TRACK	曲番を入れる場合は自動曲番ボタンを押しAUTO TRACK表示を確認します
6 CD再生/一時停止ボタンを押します	PHONO REC 001 0:05	ディスプレーの秒数表示スタート 録音状態になります
7 レコードに針をのせます レコードの再生開始	PHONO NO TOC CD-RW REC 001 0:05 AUTO TRACK	録音スタート 音楽が流れます 録音レベル調整をしてください
8 A面の曲が終ると自動で針がホルダーに戻ります	PHONO NO TOC CD-RW 015 AUTO TRACK	自動曲番入有効の場合にはA面録音終了時に録音された曲数が表示されます
9 レコードを裏面(B面)または別のレコード盤に交換します	PHONO NO TOC CD-RW 015 AUTO TRACK	CDが一時停止状態です
10 再度レコードに針をのせると自動で録音が再開されます	PHONO NO TOC CD-RW REC 016 0:05 AUTO TRACK	ディスプレーの秒数がスタートし次のカウントが表示され録音が開始されます
11 録音が終りましたら停止ボタンを押します	PHONO NO TOC CD RW	曲が終了するとアームホルダーにアームが自動的に戻ります
12 CDボタンを押します 録音された曲数、時間が表示	PHONO NO TOC CD-RW 015 28:10 CD	A面とB面が録音されました
13 このCDが一杯になるまで続けて録音できます		CDやテープなどからも続けて録音できます。 完成作業をするとできなくなります。
14 CDを完成させる場合はファイナライズ(完成)作業をおこなってください		ファイナライズ(完成)作業をすると他の再生装置(CDプレーヤーなど)で聞くことができます

※ファイナライズ(CDの完成)はP.26をご参照ください。

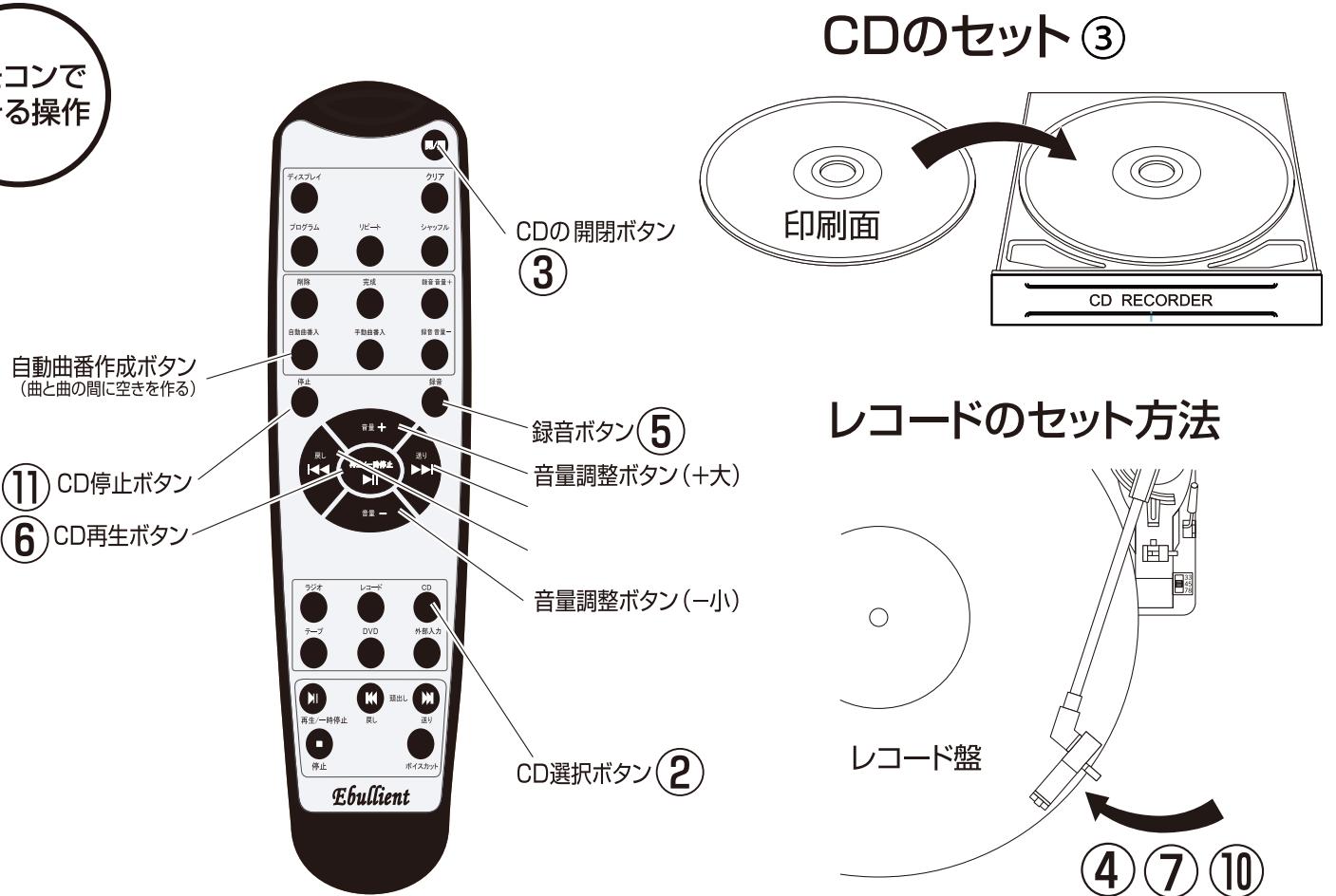
レコードからCDへの録音方法

※録音に使用するCDは使い慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

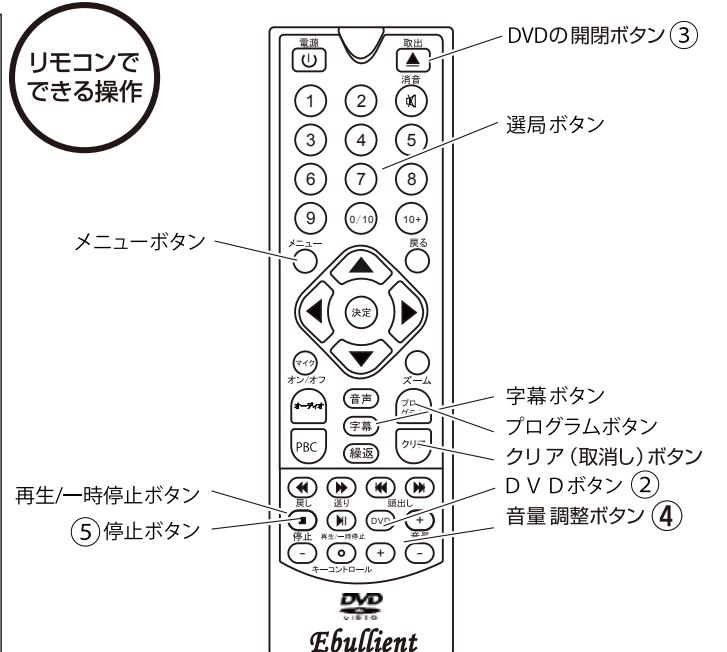
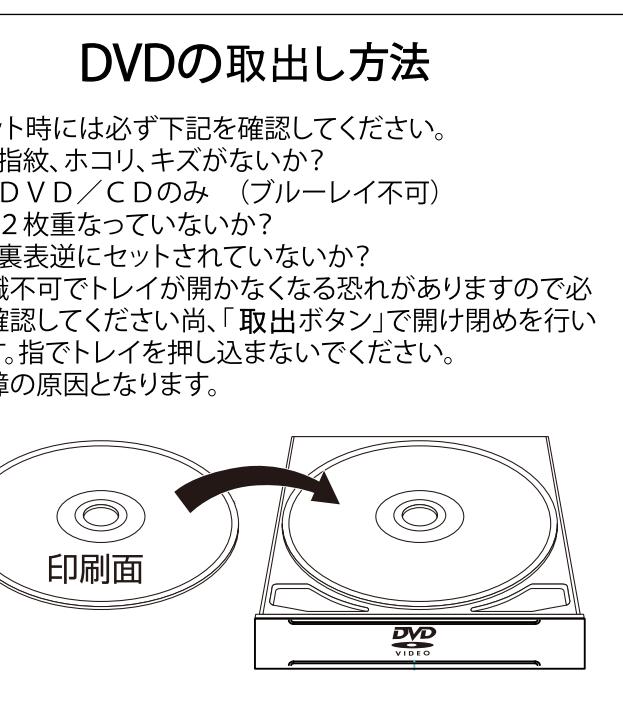
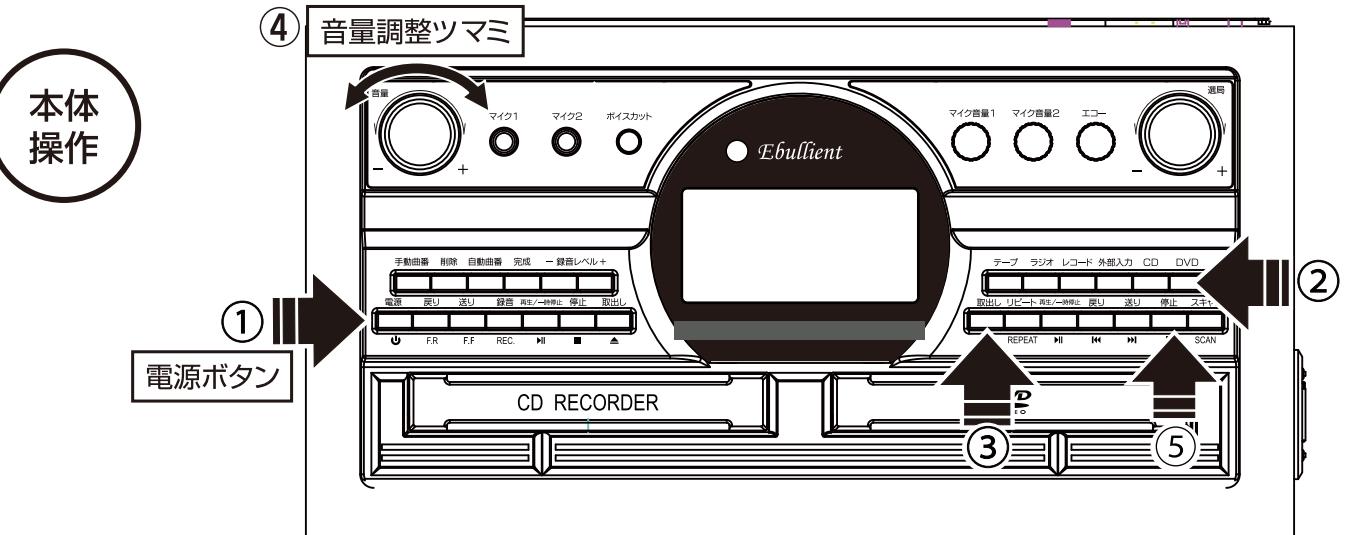
本体操作



リモコンで
できる操作



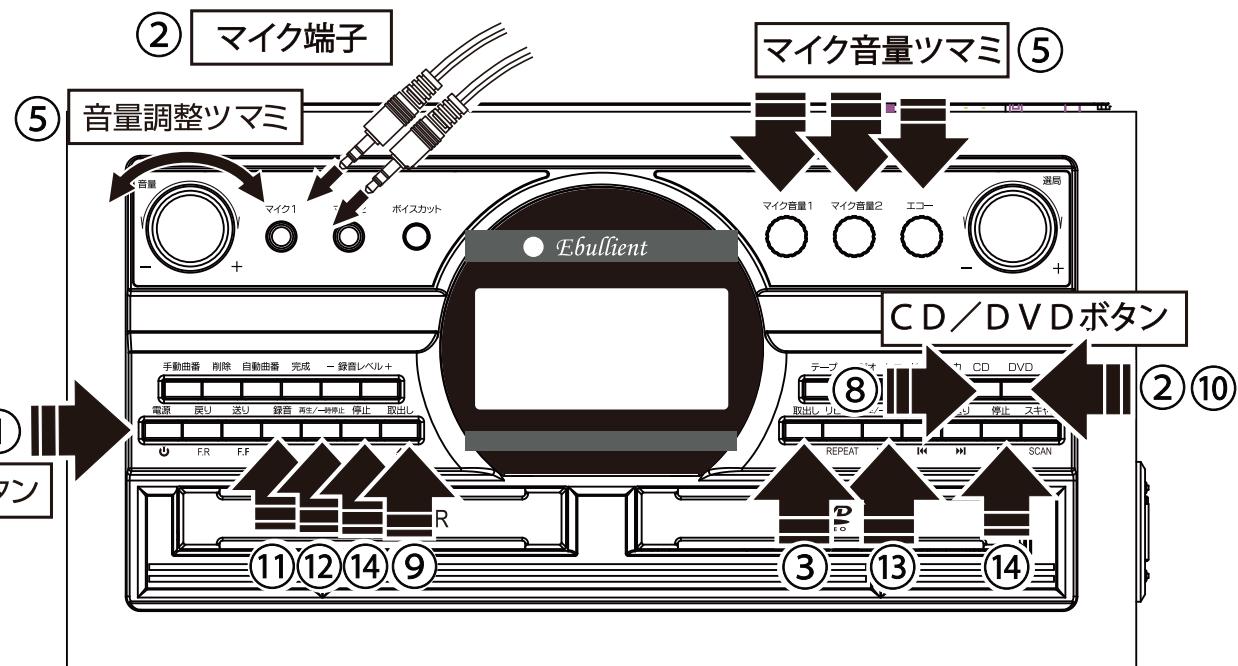
操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
1 電源ボタンを押します ディスプレイが点灯します		ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで 次のボタンを押さないでください
2 DVDのボタンを押します	NO DISC DVD AUTO TRACK	ディスプレーに「NO DISC」表示
3 取出しボタンを押しDVD またはカラオケ用DVDを セットします(自動再生)	001 0:05 DVD AUTO TRACK	DVDによって自動再生します。頭から再生する 場合は停止ボタンを2回押します。カウントは そのままですが再生すると頭から再生します。
4 スピーカーから音声が出ます TVモニターに映像がでます	001 0:05 DVD AUTO TRACK	本機またはリモコンの音量調節 でお好みに合わせてください
5 DVD終了時 DVD停止ボタンを押します	CLOSE DVD AUTO TRACK	終了時必ずDVDを取出してください



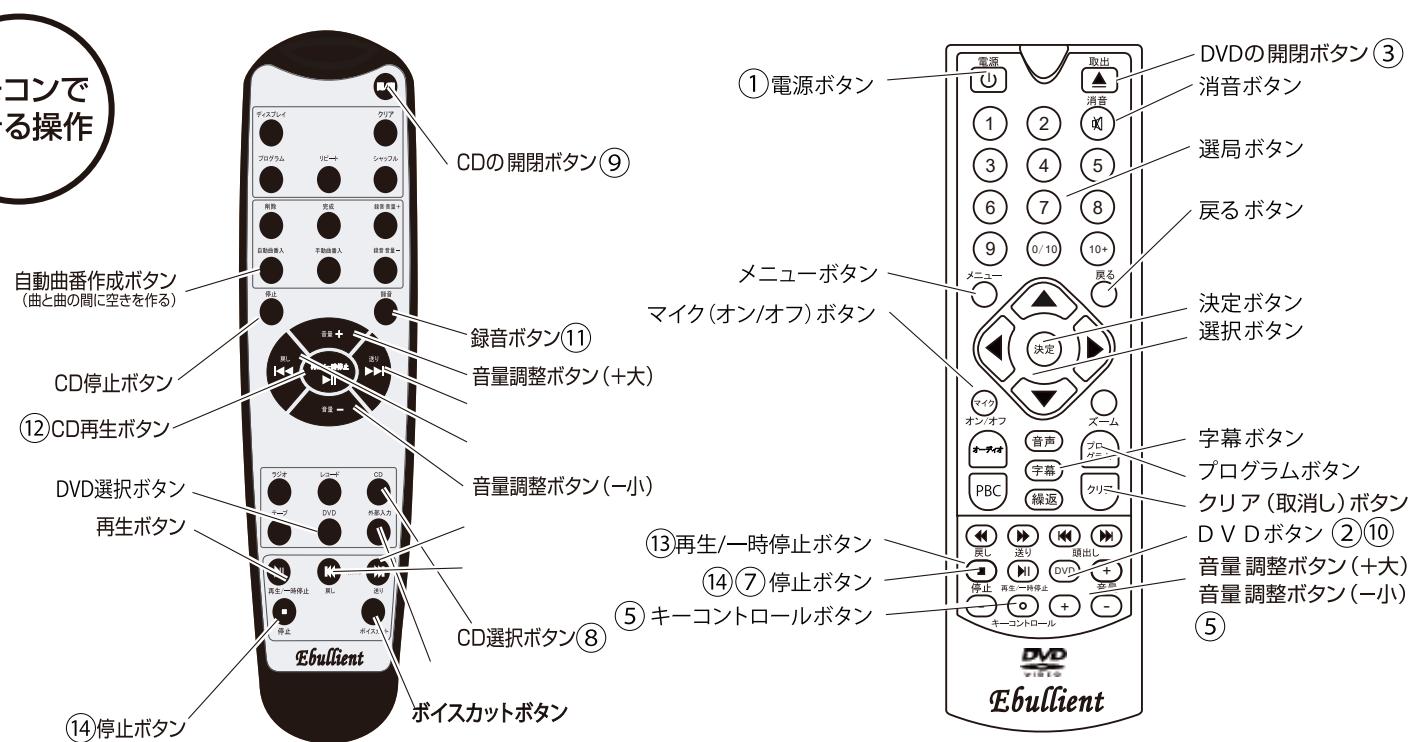
DVDカラオケ・CDへの録音方法

TVモニターとの接続方法はP.14のDVD再生方法をご覧になり本機と接続してください。

本体操作



リモコンで
できる操作



操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
① 電源ボタンを押します ディスプレイが点灯します		ディスプレーに「busy」表示 「busy」表示が消えるまで 次のボタンを押さないでください
② DVDのボタンを押します 本機正面のマイク端子に マイクを差込みます	NO DISC DVD	ディスプレーに「NO DISC」表示
③ 取出しボタンを押しDVD またはカラオケ用DVDを セットします(自動再生)	001 0:05 DVD	トレイは必ず「取出しボタン」で閉める 手で閉めますと不具合の原因となります
④ セットされたDVDにもよりますが自動再生DVDの場合は停止ボタンを2回押すことにより曲の頭に戻ります。 液晶表示は停止した時点のカウントで停止していますが再生時は曲の頭からの再生になります 液晶表示は「STOP」※一時停止時はカウント停止		
⑤ マイク音量、エコー/ キーコントロールを本機または リモコンで調節します	001 0:05 DVD	本機またはリモコンの音量調節 でお好みに合わせてください
⑥ DVDカラオケまたはCDボイスカット録音の場合は、マイク音量/エコー、キーコントロール等の調整を あらかじめ再生時にテストを行ってください。(CD-Rへの録音の場合は一切の削除はできません)		
⑦ CDボイスカットの場合は一度再生テストにてボイスカット「ボーカルラインを抑える機能」が作動することを確認して から録音操作に進んでください。(CDの録音状態によってはボイスカット機能効果が出ない場合があります) P.13		
⑧ CDのボタンを押します	NO DISC	BUSY表示がでましたら消えるまで 他のボタンを押さないでください
⑨ 取出しボタンで録音用の CDをセットします	NO TOC CD-RW 0000 00 CD	CDの向きを確認しセット してください
⑩ DVDのボタンを押します 自動再生しますので停止ボタン で再生を止めます	STOP NO TOC CD-RW	最初からお聴きになる場合は停止ボタ ンを2回押し、再生ボタンを押します
⑪ 録音ボタンを押します	CLOSE NO TOC CD-RW REC 001 AUTO TRACK DVD	曲番を入れる場合は 自動曲番ボタンを押し AUTO TRACK表示を確認します
⑫ CD再生ボタンを押します	CLOSE NO TOC CD-RW REC 001 0:05 DVD	録音開始
⑬ DVD再生ボタンを押します	015 21:21 NO TOC CD-RW REC 001 0:05 DVD	DVDの音声とマイクからの 音声が録音されます。
⑭ DVDカラオケ録音停止の場合 CD(録音)停止/DVD(再生)停止 ボタンを押します。	STOP NO TOC CD-RW	

※ファイナライズ(CDの完成)はP.26をご参照ください。